

平成25年度表丹沢野外活動センター一浴場新築工事

建 築 意 匠 図		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A－００	表紙・図面リスト	非縮尺
A－０１	特記仕様書（１）	非縮尺
A－０２	特記仕様書（２）	非縮尺
A－０３	特記仕様書（３）	非縮尺
A－０４	特記仕様書（４）	非縮尺
A－０５	敷地求積図－１	1/500
A－０６	敷地求積図－２	非縮尺
A－０７	敷地求積図－３	1/300
A－０８	工事概要、案内図、現況図	1/700
A－０９	配置図	1/300
A－１０	仕上表	非縮尺
A－１１	平面詳細図	1/50
A－１２	屋根詳細図	1/50
A－１３	立面図	1/100
A－１４	矩計図－１	1/30
A－１５	矩計図－２	1/30
A－１６	矩計図－３	1/30
A－１７	矩計図－４	1/50
A－１８	矩計図－５	1/50
A－１９	建具表－１	1/50 1/100
A－２０	建具表－２	1/50 1/100
A－２１	展開図－１	1/50
A－２２	展開図－２	1/50
A－２３	展開図－３	1/50
A－２４	展開図－４	1/50
A－２５	展開図－５	1/50
A－２６	天井伏図	1/50
A－２７	スロープ詳細図	1/30
A－２８	雑詳細図	1/20
A－２９	外構図	1/300
A－３０	仮設計画図（参考図）	1/300

[illegible][illegible]

電 気 設 備 図		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-01	分電盤リスト	非縮尺
E-02	電灯動力盤結線図（既設改修）	非縮尺
E-03	構内配線路	1/300
E-04	研修棟幹線・弱電設備改修平面図	1/100
E-05	照明器具・弱電機器姿図	非縮尺
E-06	幹線設備平面図	1/50
E-07	電灯設備平面図	1/50
E-08	コンセント設備平面図	1/50
E-09	弱電設備平面図	1/50
E-10	計装配線設備平面図	1/30

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	表紙 図面リスト	縮尺 非縮尺	設計年月日 平成25年3月	A-00

特 記 仕 様 書

I 工事概要

- | | | |
|---|------|---------------------------|
| 1 | 工事件名 | 平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事 |
| 2 | 工事場所 | 神奈川県茅野市菩提2046の5番地外 |
| 3 | 工事期間 | 平成25年 5月23日 ~ 平成25年11月11日 |
| 4 | 敷地面積 | 17,537.32㎡ |
| 5 | 工事概要 | (新築工事) |

表丹沢野外活動センター浴場の建設を行うもの。

建築本体

- ・構造 木造平屋建て
- ・建築面積 132.50㎡
- ・延べ面積 129.60㎡

上記に伴う建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事、外構工事等一式

II 工事特記事項

- 1 本工事は、行政関係の検査の後仮引渡しまでを現場完了とし、期限は10月14日までとする。
- 2 構造物・下地材以外の木材は、秦野産材を利用するものとし、その証明等（秦野産材認証制度の認定ではない）の提出を行うこと。なお、詳細は仕上げ表を参照とする。

Ⅲ 建築工事仕様

- 1 特記に記載されていない事項は下記の共通仕様書による。
- ・公共建築工事標準仕様書 (各工事編 最新版)
 - ・公共建築改修工事標準仕様書 (各工事編 最新版)
 - ・公共建築工事積算基準及び同解説 (最新版)
 - ・建築工事標準詳細図 (最新版)
 - ・木造計画・設計基準 (最新版)
- 2 特記及び共通仕様書に記載されていない事項は、(社)日本建築学会建築工事標準仕様書(最新版)及び(社)日本建築学会監修の各種指針等に準拠する。
- 3 各工事において、他の工事と関連ある事項は、それぞれの共通仕様書を参照する。

- 4 特記仕様
- 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 特記事項は、◎のついたものを適用する。
- ◎印のつかない場合は※のついたものを適用する。
- ◎印と ※ 印のついた場合は、共に適用する。
- 特記事項に記載の（ ） 内表示番号は共通仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す。
- 真欄は、共通仕様書の当該表を示す。

01 一般共通事項

項 目	特 記 事 項
① 適用範囲	本特記仕様書は、各共通仕様書及び補足事項に記載無き事項を特記するものであり、各工事に於いて、他の工事との関連ある事項は、各々該当の記載事項を参照する。
② 疑 義	本工事の設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。
③ 優先順位	<p>本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場説明書（質疑応答書を含む） 2. 設計図及び本特記仕様書 3. 公共建築工事標準仕様書（最新版）及び建築工事施工監理指針（上・下巻）（最新版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 4. 公共建築改修工事標準仕様書（最新版）及び建築工事施工監理指針（上・下巻）（最新版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 5. J I S その他の公共規格
④ 材料試験	本工事に使用する材料のうち、監督員により指示のあるものに関してはその成績表を提出し、又は監督員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。なお試験に要する諸経費は全て請負業者の負担とする。
⑤ 提出書類	<p>本工事の施工に伴う提出図書は、別途監督員が書類にて指示する。</p> <p>他に必要に応じて監督員との協議の上、作成するものとする。</p> <p>提出書類及び工事写真については指示された所定の書類及び指示に従って行うものとする。</p> <p>材料及び指定メーカーの選定にあたっては、事前に監督員と打ち合わせの上承諾を受けること。</p> <p>建設リサイクルデータ統合システム（CREDas）にて計画書及び報告書を作成し提出する事。尚、報告書については、電子データを併せて提出する事。</p> <p>提出書類及び工事写真については、指示された所定の書類及び指示に従って行うものとする。</p> <p>完成写真、完成時の写真は黒表紙金文字入製本、建築写真家によるものとし、カラーキャビネ版をアルバム貼付にて提出の事。また、撮影箇所数は別途指示による。</p>
6 定例打合会議	<p>工事の円滑な進行を計るため、監督員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を召集し、打ち合わせを行うものとする。</p> <p>請負者は定例打合会議議事録をとり、その都度監督員の承諾を得るものとする。</p>
⑦ 既存部分との取合い	既設建物と今回工事の取り合い部分、その他でハツリ及び、工事の都合等により破損、損傷させた箇所は、今回工事仕上あげるいは既存仕上、同材にて完全に補修しなければならない。
⑧ 工事保証その他	<p>建物竣工引き渡し後2年以内に於いて工事不良の為、生じたと認められる損害は、請負業者の負担にて、迅速丁寧に戻すこと。</p> <p>本工事施工に際しては、本工事場所が工事による騒音・振動などについては地域規制されていないかを確かめ、規制されている場合は、規制に従い、施行計画を立て関係官庁の指導を受ける。</p> <p>請負契約による。</p>
⑨ 実施工程表	<ol style="list-style-type: none"> 1）着工に先立ち、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。 2）施工工程表に変更の必要を生じ、その内容が重要な場合は、変更実施工程表を速やかに作成し、監督員の承諾を受ける。 3）監督員の指示により、実施工程表の補足として、週間又は月間工程表、工種別工程表を作成し、提出する。
⑨ 施工計画書	着工に先立ち、施工計画書を作成し、監督員に提出すること。
⑨ 施工図等	工事の施工に必要な箇所及び監督員が指示する箇所は、施工図等を作成して監督員の承諾を受けた後、施工すること。

項 目	特 記 事 項												
⑪ 工事現場の安全衛生管理	工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり、建築基準法、労働安全衛生法等その他関連法令に従ってこれを行う。但し別に責任者が定められた場合は、これに協力する。火気の使用を行う場合は、適切な防火設備、防災シート等を設けるとともに、火気の取扱いには充分注意する。 工事現場においては、常に整理整頓を行い、特に墜落の恐れのある危険個所の点検を行う等、事故の防止に努める。												
⑫ 工 事 記 録	1) 工事写真は1部提出。 なお、工程写真は着手前・工事中・完成後一連のものを、竣工写真はタイトルを添付する等、整理、製本のうえ提出すること。 2) 竣工写真は、アルバムにて1部提出するものとし、内容は下記による。 <table><tr><th>分 類 ・ 規 格</th><th>撮 影 場 所</th><th>撮 影 数</th></tr><tr><td>カラー</td><td>建物全景</td><td>5～10</td></tr><tr><td>◎ キャビネット</td><td>室 内</td><td>各室2～3</td></tr><tr><td>・</td><td>付帯施設</td><td>監督員指示</td></tr></table> 3) 請負業者は、工事内容及び工種別の作業員数を記録した工事日報を契約期間中作成して、提出する。	分 類 ・ 規 格	撮 影 場 所	撮 影 数	カラー	建物全景	5～10	◎ キャビネット	室 内	各室2～3	・	付帯施設	監督員指示
分 類 ・ 規 格	撮 影 場 所	撮 影 数											
カラー	建物全景	5～10											
◎ キャビネット	室 内	各室2～3											
・	付帯施設	監督員指示											
⑬ 施行管理技術者 主任技術者等	建設業法第26条に定める主任技術者又は管理技術者は、その資格を証明する資料を監督員に提出して承諾を受けること。（指定建設業監理技術者資格者証等）												
⑭ 技 能 士	◎適用する ・適用しない 適用工事種別 ◎鉄筋工事 ◎コンクリート工事 ◎木工事 ◎防水工事 ◎屋根及び樞工事 ◎金属工事 ◎左官工事 ◎塗装工事 ◎建具工事 ◎内装工事												
⑮ 電気保安技術者	・適用する ◎適用しない												
⑯ 災害及び公害の防止	工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法振動規制法、大気汚染規制法、建設工事公衆災害防止対策要綱、建築副産物適正処理推進要綱、その他関連法令等に従い適切に処理するとともに、特に次の事項を守らなければならない。 1) 第三者に災害を及ぼしてはならない。 2) 公害の防止に努め、工事にあたっては低騒音型・低振動型建設機械指定要綱に基づき指定された建設機械を使用する。												
⑰ 工事保険	工事目的物を対象とする工事件外保険及び賠償責任保険を一括した建築工事保険とする。 なお、保険金額は負担金額を保証できるものとし、保険期間は契約の日から竣工引渡しの日までとする。												
⑱ 化学物質の室内濃度 測定の適用及び測定 方法等	測定対象物質及び放散量基準 測定する揮発性有機化合物は次の5物質とし、放散量が各基準以下であることを確認すること。 ・ホルムアルデヒド 100μg／m ³ （25℃換算で0.08ppm） ・トルエン 260μg／m ³ （25℃換算で0.07ppm） ・キシレン 870μg／m ³ （25℃換算で0.20ppm） ・エチルベンゼン 3,800μg／m ³ （25℃換算で0.88ppm） ・スチレン 220μg／m ³ （25℃換算で0.05ppm） 測定個数 4か所（洗面脱衣A、B、浴室A、B） 測定法 ※パッチ法（パッシング型採取）・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光光度法												
⑲ 特定調達物品等	国等による環境物品等の調達の推進に関する法律の適用、調達方針及び公共工事にかかる特定調達品目の仕様等：（「秦野市グリーン購入ガイド」による）												
⑳ 完成図等	工事施工図関係：（2部） （実施工程表＋仮設計計画図＋施工図＋承認図） 完成図書一式データ収録のCD-ROM 1枚（CAD図面を含む）												

02 仮設工事

項 目		特 記 事 項			
1 監督員事務所	監督員事務所の規模種別 監督員事務所の仕様。				
	種別	規模	備 品 等	電話	その他
		仕様の詳細について、監督員と協議する。			
② 仮 囲 い 等	範囲	工事範囲周囲に、近隣に対する安全を考慮して設置する。			
	仕様	・成型鋼板 H3m 片面塗装 ◎ガードフェンス 1.8m ・波型カラー鉄板 H1.8m			
3 養生シート等	範囲	・図示による。 ・壁等の工事を行う場合において、粉塵等の発散するおそれのある場合、 又、落下物によって工事現場の周囲に危害を及ぼすおそれのある部分。			
	仕様	防炎シート（J I S A8592規格品 防炎Ⅰ類 ナイロン）			
④ 電力・用水	※現場専用とする。但し、やむを得ない場合は関係者協議のうえ決定する。 工事用水 ・利用できない ◎利用できる（※有償 ・無償） 工事用電力 ・利用できない ◎利用できる（※有償 ・無償）				
⑤ 換 気	施工中の構築物内の換気については十分に配慮し、仕上げ材に結露等による障害のないようにすること。				
6 占 用	工事に必要となる占用については、安全に留意し、必要な処置を行う。				

03 土工事

項 目		特 記 事 項		
① 埋め戻し及び盛土		(3・2・3) (表3・2・1)		
	種 別	材 料	工 法	
	・ A 種	山砂の類	水締め、機器による締固め。	
	◎ B 種	根切り土の中の良質土	機器による締固め。	
	・ C 種	他現場の建設発生土の中の良質土	機器による締固め。	
	・ D 種	再生コンクリート砂	水締め、機器による締固め。	
② 現場発生土の処理	◎構外搬出適切処理（市指定処分場）。 ・構内指示場所に敷均し（不良土は構外搬出適切処理） ・構内指示場所にたい積。			
③ 山 止 め	・図示による。 ◎工事に必要な個所に行う。 工法、仕様は施工者に検討のうえ、監督員の承諾を得ること。			

04 地業工事

項 目	特 記 事 項					
① 既製杭地業	種類 (4・3・1)					
	◎鋼管杭 (鋼材 S T K 400) 回転圧入工法					
		杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考
	試験杭	190.7mm	-12.00m	2	4	
	本 杭	165.2mm	-12.00m	2	47	
	杭頭の切断方法 ◎切断しない (4・3・7)					
	先端部形状 ・開放型 ◎閉そく平たん型 (4・4・2)					
	施 工 法 法自動埋設機工法					
	・特定埋込み杭工法 (杭材料は認定条件に適合するもの)					
	・打込み工法					
2 場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別 ・ A 種 ・ B 種 (表4・5・1)					
	設計基準強度 ・ $F_c=21N/m$					
	鉄筋の種類 ・ 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による。					
	掘削工法 ・ アースドリル工法 (※安定液使用) (4・5・4)					
	・ リバース工法 (4・5・4)					
	・ オールケーシング工法 (※安定液使用) (4・5・4)					
③ 割 石 地 業	使用する割石は、再生クラッシュラン R C-40 程度とする。 (4・6・2)					
④ 床 下 防 湿 層	※適用する。 範囲 ◎図示による。 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下。 ※ポリエチレンシート敷 厚さ 0.15mm以上、重ね寸法等は250mm以上。 (4・6・2) (4・6・6)					
⑤ 土 間 断 熱 材	ポリエチレンフォーム 厚さ ・ 25mm ◎50mm					

05 鉄筋工事

項 目		特 記 事 項																									
① 鉄 筋 の 種 類	<div style="text-align: right;">(表5・2・1)</div> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th colspan="2">種類の記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J I S (G 3 1 1 2)</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>S R 2 3 5、S R 2 9 5、S D 2 9 5 A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋</td> <td>S D 2 9 5 B、S D 3 4 5、S D 3 9 0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			規格番号	規格名称	種類の記号		J I S (G 3 1 1 2)	鉄筋コンクリート用棒鋼	S R 2 3 5、S R 2 9 5、S D 2 9 5 A			建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋	S D 2 9 5 B、S D 3 4 5、S D 3 9 0													
規格番号	規格名称	種類の記号																									
J I S (G 3 1 1 2)	鉄筋コンクリート用棒鋼	S R 2 3 5、S R 2 9 5、S D 2 9 5 A																									
	建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋	S D 2 9 5 B、S D 3 4 5、S D 3 9 0																									
2 溶 接 金 網	溶接金網は J I S (G 3 5 5 1) 溶接金網及び鉄筋格子により、網目の形状寸法及び鉄線の径は、特記による。 <div style="text-align: right;">(5・2・2)</div>																										
③ 鉄筋の継手及び定着	<div style="text-align: right;">(5・3・4) (表5・3・4)</div> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>鉄筋の種類</th> <th>コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)</th> <th>フックなし</th> <th>フックあり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S D 2 9 5 A</td> <td>1 8</td> <td>4 5 d</td> <td>3 5 d</td> </tr> <tr> <td>S D 2 9 5 B</td> <td>2 1</td> <td>4 0 d</td> <td>3 0 d</td> </tr> <tr> <td>S D 3 4 5</td> <td>2 4</td> <td>4 0 d</td> <td>3 0 d</td> </tr> <tr> <td>S D 3 9 0</td> <td>2 1</td> <td>5 0 d</td> <td>3 5 d</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 4</td> <td>4 5 d</td> <td>3 5 d</td> </tr> </tbody> </table>			鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	フックなし	フックあり	S D 2 9 5 A	1 8	4 5 d	3 5 d	S D 2 9 5 B	2 1	4 0 d	3 0 d	S D 3 4 5	2 4	4 0 d	3 0 d	S D 3 9 0	2 1	5 0 d	3 5 d		2 4	4 5 d	3 5 d
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	フックなし	フックあり																								
S D 2 9 5 A	1 8	4 5 d	3 5 d																								
S D 2 9 5 B	2 1	4 0 d	3 0 d																								
S D 3 4 5	2 4	4 0 d	3 0 d																								
S D 3 9 0	2 1	5 0 d	3 5 d																								
	2 4	4 5 d	3 5 d																								
④ 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表5.3.6による。 <div style="text-align: right;">(5・3・5)</div> 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。																										
⑤ 各 部 配 筋	各部の配筋は構造図特記及び仕様書による。 <div style="text-align: right;">(5・3・7)</div>																										
⑥ 技 能 資 格 者	圧接作業における技能資格者は、工事に相応した J I S (Z 3 8 8 1) (鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) による技量を有する者とする。 <div style="text-align: right;">(5・4・2)</div>																										
⑦ 圧接完了後の検査	◎外観試験 <div style="text-align: right;">(5・4・9)</div> (5・4・10) ◎抜取り試験は、次の超音波探傷試験又は引張試験とし、その適用は特記による。 特記がなければ、超音波探傷試験とする。																										

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	特記仕様書 1	縮尺	設計年月日	A-01
									非縮尺	平成25年3月	

6コンクリート工事

※構造に関するくい違い項目については、構造設計図書を正とし優先するものとする。

①設計基準強度

打設部位		$F_c = N/mm^2$	スランブ	備考
	基礎	・18 ◎21	・12 ◎15 ・18	使用区分は構造図による
	上部	・18 ◎21	・12 ・15 ◎18	
土間コンクリート		・18 ◎21	・12 ◎15 ・18	
捨てコンクリート		・15 ◎18	・12 ◎15 ・18	
軽量コンクリート		・18	・12 ・15 ・18	
主体部発注強度は 3 (N/mm2) を加えた強度以上とする。				

②レディーミクストコンクリートの類別

◎レディーミクストコンクリートの類別は、表6.1.1により、適用は特記による。(表6・1・1)
特記がなければⅠ類とする。

③混和材料

◎混和材料は、鉄筋コンクリートに適した良質なものとし、種類及び適用は特記による。(6・3・5)

4 軽量コンクリートの種別

・1種 気乾単位容積質量 1.7～2.1 (t/m3) (6・11・1) (表6・11・1)
・2種 気乾単位容積質量 1.4～1.7 (t/m3)

⑤寒中コンクリート

適用期間 24年10月11日 ～ 25年4月20日 (6・12・1)

6 無筋コンクリート

・コンクリートの種類は、普通コンクリートとする。(6・14・1)

⑦塩化物量及びアルカリ総量

◎行う ・行わない (6・5・4)
◎無害骨材の使用。

⑧調合強度

セメントの種類	コンクリート打込み後28日までの 期間の予想平均気温の範囲 (℃)		
普通ポルトランドセメント	16以上	8以上16未満	3以上8未満
早強ポルトランドセメント	15以上	5以上15未満	2以上5未満
気温による補正値 (N/mm2)	0	3	6

⑨試験

コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所で行う。(6・10・4)
供試体の標準養生の場合は、JIS (A 1132) による $20 \pm 2^{\circ}C$ の水中養生とする。
工事現場における養生は水中養生とし、建物等に近い条件になるようにする。

⑩型枠

材料	工法	(6・9・4)	
◎合板	・金属製	◎ボルト式	・番線式
型枠の最小存置期間 (表6・9・2)			
施工箇所	基礎、梁側、柱、壁		
セメントの種類	存置期間中の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
コンクリートの材齢 による場合 (日)	15℃以上	2	3
	5℃以上	3	5
	0℃以上	5	8
コンクリートの圧縮 強度による場合	——	圧縮強度が5 N/mm2以上になるまで。	

支柱の最小存置期間 (表6・9・3)

施工箇所	スラブ下		梁下
セメントの種類	存置期間中の2.5平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
コンクリートの材齢 による場合 (日)	15℃以上	8	17
	5℃以上	12	25
	0℃以上	15	28
コンクリートの圧縮 強度による場合	圧縮強度が設計基準強度 (F_c) の85%以上又は 12N/mm2以上であり、かつ、施行中の荷重及び 外力ついて、構造計算により安全であること が確認されるまで。		

07	鉄 骨 工 事	※構造に関するくい違い項目については、構造設計図書を正とし優先するものとする。				
	項 目	特 記 事 項				
1	鉄骨製作工場	・ 監督員の承諾する製作工場（国土交通大臣認定：Mグレード） ・ 「溶接作業判定基準」に適合する製作を行う製作工場は、下記の条件を満足するもの。 1) 契約電力 （ ） K W以上（デマンド契約した場合はこの70%で可） 2) 超音波探傷器 （ ） 台以上又は放射線透過試験装置 （ ） 台以上 3) 建築士 一級 （ ） 名以上 二級 （ ） 名以上 4) WES8103 一級 （ ） 名以上 二級 （ ） 名以上 5) NDIUT Ⅲ種 （ ） 名以上 Ⅱ種 （ ） 名以上			(7・1・3)	
2	施工管理技術者	・ 適用する ・ 適用しない			(7・1・4)	
3	工 作 図	工作図、現寸図の作成 ・ 有り ・ 無し			(7・3・2) (7・3・4)	
4	鋼 材 の 種 類	材質 規格	SS400 JIS G 3101	SN490C JIS G 3136	STKR400 JIS G 3466	(7・2・1)
5	材 料 試 験	・ 適用する ・ 適用しない			(7・2・10)	
6	高力ボルト	ボルトの種類	・ トルシア形高力ボルト（建築基準法の認定品） ・ J I S 形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト（建築基準法の認定品）			(7・4・1)
		ボルトの種類	・ ボルト孔の径は表7.3.2による。			
7	普通ボルト	・ ボルト孔の径は表7.3.2による。 普通ボルト接合の座金の厚さ（単位：mm）				(7・5・1)
		ボルト径	M12	M16～M22	M24、M30	
		並形一部品等級A	2.5	3.0	4.0	

7 溶接部の試験	A O Q L ・ 4.0% ・ 2.5% (7・6・11) 検査水準 ・ 第6水準		
	試験の種類	試験箇所	試験方法
	・ 超音波探傷試験	突合せ溶接部	・ 7・6・11による
8 錆止め塗料	錆止め塗料塗り回数は、工場1回、現場1回以上とする。(18・3・3) 錆止め塗料の種類 ・ A種 ・ B種 (表18・3・1) 錆止め塗料塗りの種類 ・ A種 ・ B種 (表18・3・3) 素地ごしらは (18・2・3) による。		
	種別	・ ラス張りモルタル塗り	(7・9・2)
	耐火性能 (1時間) 耐火被覆材の接着する面の塗装を行う場合 種別 ・ A種 ・ B種		
10 アンカーボルト等の設置	アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7・10・1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 柱底均しモルタルの工法 (表7・10・2) 種別 ・ A種 ・ B種		
11 溶融亜鉛めっき	溶融亜鉛めっき作業は、JIS H 8641によるJIS表示認定工場で行う。(7・12・3) 鉄鋼亜鉛めっきの種類 (14・2・3) (表14・2・2)		
	種別	表面処理方法	規格番号
	A種	HDZ55	HDZ55
	B種	溶融亜鉛めっき	JIS H 8641
	C種	溶融亜鉛めっき	2種
	溶融亜鉛めっき面の仕上りは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。(14・2・3)		

項 目		特 記 事 項	
① 建築用コンクリートブロック	補強コンクリートブロック造 ・ 16 (C種) 普通ブロック ・ 16 (C種) 防水ブロック コンクリートブロック帳壁及び塀 ・ ブロックは、JIS A 5406 (建築用コンクリートブロック) による。		(8・2・2) (8・3・1)
	適 用 箇 所		断面形状及び圧縮強さによる区分
	・ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀		空洞ブロック 16
	・ 衛生配管用裏積みブロック		空洞ブロック O 8
2 ALCパネル	パネルはJIS A 5416 (軽量気泡コンクリートパネル) による。 (8・4・2)		
	種 類	厚 さ (mm)	単位荷重 (Kgf/m ²)
	外 壁 用	・ 120 (125) ・ 150	
	間仕切用	・ 100 ・ 120 (125) ・ 150	
	屋 根 用	・ 100	
	床 用	・ 100	
	外壁パネルの取付工法		・ A種 ・ B種 ・ C種 (表8・4・3)
	間仕切パネルの取付工法		・ A種 ・ B種 ・ C種 (表8・4・4)
	屋根、床パネルの取付工法		・ A種 ・ B種 ・ C種 (8・4・6)
3 押出成形セメント板	パネルはJIS A 5411 (押出成形セメント板) による。 (8・5・2)		
	種 類	厚 さ (mm)	単位荷重 (Kg/m ²)
	外 壁 用	・ 35 ・ 50 ・ 60 ・ 75	・ 63.1
	間仕切用	・ 35 ・ 50 ・ 60 ・ 75	
	屋 根 用	・ 35	
	外壁パネルの取付工法		・ A種 ・ B種 ・ C種
	間仕切パネルの取付工法		・ A種 ・ B種 ・ C種
	屋根パネルの取付工法		・ A種 ・ B種 ・ C種
	溝堀り及び開口部の処理 ・ パネルには、溝堀りを行わない。開口部には、補強材を設ける。		(8・5・5) (表8・5・3)

09 防水工事		特 記 事 項		
① アスファルト防水	(9・2・2)			
		種 別	工 程	施工箇所
	保護防水	・ A－1 ・ A－2	(表9・2・3)	
		・ AⅠ－1 ・ AⅡ－2	(表9・2・4)	
		・ B－1 ・ B－2	(表9・2・5)	
		・ BⅠ－1 ・ BⅡ－2	(表9・2・6)	
	露出防水	・ D－1 ・ D－2	(表9・2・7)	
	屋内防水	◎ E－1 ・ E－2	(表9・2・8)	
	アスファルトの種類 ◎3種			
アスファルトルーフィング ◎1500				
断熱材 ・ 材質 JIS A 9511 ポリスチレンフォーム 3種b				
・ 厚さ 25				
絶縁用シート・ポリエチレンフィルム厚さ 0.15				
◎フラットヤーンクロス (70g/㎡程度)				
端部押え金物 ◎アルミニウム製 L＝30×15×2.0程度				
成形伸縮目地・目地幅は25mm、高さ調整が可能なもので、付着層又はアンカー一部を備えた製品とする。				

2 合成高分子系 ルーフィングシート防水	(9・4・3) (表9・4・1)				
	種 別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
	S－F 1 加硫ゴム系張付け				
	S－F 2 塩化ビニル樹脂系張付け				
	S－M 1 加硫ゴム系固定金具				
	S－M 2 塩化ビニル樹脂系固定金具				
	S－M 3 熱加塑性エラストマー系固定金具				
	立ちあがり部は、同シートの接着工法とする。				
	断熱材 脱気装置				
	・無し ・無し				
3 塗 膜 防 水	(9・5・2) (表9・5・1) (表9・5・2)				
	種 別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
	X－1 ウレタン防水材 (1類) 塗り				
	X－2 ウレタン防水材塗り				
	Y－1 ゴムアスファルト防水材				
	Y－2 ゴムアスファルト防水材塗り				
④ 漏 水 試 験	◎室内においては、水張り試験を行う。 ・屋上については、監督員の指示による。				
⑤ シーリング	(9・6・2) (表9・6・1)				
	被 着 体	記 号	シーリング材の種類		
	金 属	SR－1	シリコーン系		
		SR－2	シリコーン系		
		MS－2	変成シリコーン系		
	ガ ラ ス	PU－2	ポリウレタン系		
		SR－1	シリコーン系		
	石	PS－2	ポリサルファイド系		
	コンクリート	MS－2	変成シリコーン系		
		PS－2	ポリサルファイド系		
PU－2		ポリウレタン系			
A L C 押出成形セメント板 アルミニウム建具等 の工場シール 遮音壁取合い部	MS－2	変成シリコーン系			
	PU－2	ポリウレタン系			
	PS－2	ポリサルファイド系			
	AC－1	アクリル系			
接着性試験 ※行う (※簡易接着性試験・引張接着性試験) ・行わない。(9・6・5)					
⑥ 保 証 年 限	保証書に付いては、請負業者、防水施工業者、メーカーの連名による保証書を提出すること。 保証年限 ◎10年 (塗膜防水は5年)				

10 石 工 事		特 記 事 項	
項 目			
1 材料	天然石 石の品質 テラゾ 種石の種類 表面の仕上	床用石材 壁及びその他の石材 ・大理石 ・本磨き	・ 2 等品 ・ 1 等品 ・ 花こう岩
2 壁の石張り工法	外壁石張り 工法 内壁石張り 工法	・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法 ・ 内壁空積工法 ・ 乾式工法	(10・3・1) (10・5・1) (10・4・1) (10・5・1)
3 床の石張り工法	石材の厚さは特記による。 目地	・ 一般目地 ・ 伸縮調整目地	(10・6・1)
④ 特殊部位の石張り工法	材料 取付け代 下地ごしらえ 目地	◎御影石 ◎見上げ面の取付けに吊りボルトを使用する場合は、10・5・3による。 ◎吊りボルトを設ける場合は、原則として、構造体の施工時に 吊金物受け用のアンカーを取り付ける。 ◎一般目地 ・ 伸縮調整目地	(10・7・1)

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	特記仕様書2	縮尺	設計年月日	A－02
									非縮尺	平成25年3月	

1 1 タイル工事		特 記 事 項									
項 目		(11・2・1)									
① 陶磁器質タイル張り	タイルの種類										
	施工箇所	形状寸法	きじ		釉薬		役物		色	備考	
			磁器	せつ器	陶器	無釉	施釉	有り	無し	標準	注文
	エントランス床	150×150	○			○		○		○	
	浴槽	300×300	○			○		○		○	
	洗い場床	300×300	○			○		○		○	
浴室腰壁	150×150	○			○		○		○		
標準曲がりの役物は、一体成形とする。 タイルの見本焼き ・行う ◎行わない 浴室内のタイルは、全て INAX・庵路（あんじ）同等品以上とすること。											
② 壁タイル張りの工法		(11・3・3)									
内装タイル		◎壁タイル接着剤張り ・積み上げ張り									
外装タイル		・密着張り ・マスク張り									
タイルの試験張り		・行う ◎行わない									
③ 陶磁器質タイル型枠先付け工法		(11・4・2)（表11・4・1）									
種 別		適用タイル					タイル先付け面のせき板				
タイルシート法											
目地樹法											
栈木法											

1 2 木 工 事		特 記 事 項					
項 目							
① 表 面 仕 上 げ	※A種 ・ B種 ・ C種	(12・1・4) (表12・1・1)					
② 木 材 の 品 質	※A種 ・ B種	(12・2・1) (表12・2・1)					
③ 造作材の等級	※A種 ・ B種	(12・2・1) (表12・2・2)					
④ 木 材 の 樹 種	(12・2・1) (表12・2・3)						
	施工箇所（造作材）	樹 種	施工箇所（構造材）	樹 種			
	腰壁	杉	土台	桧			
	建具	杉	柱	杉			
	建具三方枠	檜	梁	米松 杉			
			母屋	杉			
	図面及び上記に記入のない樹種は[共通仕様書]による。						
⑤ 代 用 樹 種	◎可 ・ 不可	(12・2・1) (表12・2・3)					
6 集 成 材	構造材用集成材	単板の樹種（	）	厚さ（	）	mm	(12・2・2)
	造作材用集成材	単板の樹種（	）	厚さ（	）	mm	(12・2・2)
	化粧梁用集成材	単板の樹種（	）	厚さ（	）	mm	(12・2・2)
⑦ 防 腐 処 理	[共通仕様書]による。						(12・2・8)
⑧ 防 蟻 処 理	◎見え隠れ部分の抱水面上に接する部分、及び地盤より1 m以内の部分に行う。						(12・2・9)
⑨ 防 虫 処 理	[共通仕様書]による。						(12・2・10)
⑩ 床 板 張 り	工法は、表12・5・1による。						(12・5・1)
⑪ 壁及び天井下地	工法は、表12・6・2による。						(12・6・1)

1 3 屋 根 及 び い 工 事	特 記 事 項									
項 目	特 記 事 項									
① 長尺金属板葺	(13・2・2) (表13・2・1)									
	長尺金属板の種類									
	◎フッ素ガルバリウム鋼板（ガー）（厚さ 0.45 ）mm									
	・溶融アルミニウムめっき鋼板（厚さ ）mm									
	・ポリ塩化ビニル被覆金属板（厚さ ）mm									
2 石綿スレート葺										
	・塗装ステンレス鋼板（厚さ ）mm									
	屋根葺き工法に応じた専門工事行者の仕様による。									
3 ｱｽﾌﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺き										
	屋根葺き工法に応じた専門工事行者の仕様による。									
4 折 版 葺 き										
	材料									
	・カラー亜鉛鉄板（厚さ ）mm									
	・アルミめっき鋼板（厚さ ）mm									
	・塩ビ鋼板（厚さ ）mm									
⑤ と い	(13・5・2)									
	材種 ・配管用鋼管 ※硬質塩化ビニル管 ・カーステンレス管									
	鋼管製との防露 ・行う（既存室内露出部分）									
	掃除口 ・有り ・無し									
	軒樋 ※硬質塩化ビニル製									
6 ルーフドレイン										
	塗装 ・行う ※行わない									
	材種 ・配管用鋼管 ※硬質塩化ビニル管 ・カーステンレス管									
⑥ 外部建具周囲充填										
	鋼管製との防露 ・行う（既存室内露出部分）									
	掃除口 ・有り ・無し									
	軒樋 ※硬質塩化ビニル製									
	塗装 ・行う ※行わない									
20 目 地										
	ブロック下地のモルタル面は、ブロックの目地に合わせ、2mm内外及びR Cとの取合									
	いで目地切りを行う。外部はシーリングを行う。									

1 4 金 属 工 事		特 記 事 項				
① ステンレスの 表面仕上げ		(14・2・1)				
		種 類		施 工 箇 所		
		◎H L程度		スロープ手摺 浴槽手摺		
		・ No2 B程度				
		・ 鏡面仕上げ				
2 アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面仕上げ		種別 Aー・1種 ・ 2種 Cー・1種 ・ 2種		Bー・1種 ・ 2種 ・ D種 (14・2・2)		
3 鉄鋼の亜鉛めっき		(14・2・3) (表14・2・2)				
		表面処理方法	種 別	最小板厚 (mm)	施 工 箇 所	
		溶融亜鉛めっき	・ A 種	4.5以上		
			・ B 種	3.2以上		
			・ C 種	1.6以上		
			・ D 種	—		
		電気亜鉛めっき	・ E 種	—		
			・ F 種	—		
4 軽量鉄骨天井下地		野縁の種類 (14・4・2) (表14・4・1)				
		屋内 ・ 1 9型 ・ 2 5型 屋外 ・ 1 9型 ・ 2 5型 天井点検口等の開口補強は、本体工事に含む。				
5 軽量鉄骨壁下地		スタッド、ランナー等の種類 (14・5・2) (表14・5・1)				
		・ 6 5型 ・ 9 0型 ・ 1 0 0型 開口補強及び設備機器等の取り付け下地は、本体工事に含む。				
6 金属成形板張り		(14・6・2)				
		形 状	製 法	材 質	厚 (mm)	表面処理
		・ スバンドレル形	・ 押出し			Bー・1種・2種
		・ パネル形	・ プレス			Bー・1種・2種
7 アルミニウム製笠木		(14・7・2)				
		種 類	板厚 (mm)	表面処理	備 考	
		・ 1 5 0形	・ 0.45	Bー・1種・2種		
		・ 2 0 0形				
⑧ 手 す り		材質 ◎ステンレス ・ アルミ ◎図示による				
9 タ ラ ッ プ		材質 ・ ステンレス ・ アルミ ・ 図示による				
⑩ 天 井 点 検 口		アルミ既製品 ・ 300×300 ◎450×450 ・ 600×600				
11 床 下 点 検 口		アルミ既製品 ・ 450×450 ・ 600×600 ステンレス既製品 ・ 450×450 ◎600×600				
12 水切りマット		材質 ・ ステンレス製 ・ アルミ製 ・ ゴム製 ・ ビニル製				
13 鋼 製 床 組		材質 ・ 鋼製 (製造所 :)				
14 エキスパンジョイント		材質 ・ ステンレス製 ・ アルミ製				

17 カーテンウォール 工 事

項 目	特 記 事 項		
１ ＰＣカーテンウォール	コンクリートの種類及び品質		
	コンクリートの種類	設計基準強度（ F_c ）	所要スランプ（ cm ）
	鉄筋 ・ $SD295A$		
	取付金物 ・ カーテンウォール製作所の仕様による。		
	シーリング材		
	施工箇所	記 号	シーリングの種類
	カーテンウォール板間目地	$MS-2$	変成シリコン系
	断熱材 ・ 適用する ・ 適用しない		
	製品の寸法許容差		
	※製造所標準製作規格寸法許容差による		
耐風圧性能 設計用震度 水平方向（ K_H ）・ 1.0 垂直方向（ K_V ）・ 0.5			
構造種別	層間変位量（ h =支点間距離）	状 態	
鉄骨造	・ $\pm (1/100) \times h$ 以上	・ 部材が損傷せず、破損脱落 もしない。	
鉄筋コンクリート造	・ $\pm (1/200) \times h$ 以上		
鉄骨鉄筋コンクリート造	・ $\pm (1/200) \times h$ 以上	シーリングは補修程度。	
耐火材料			

18 塗装工事

項 目	特 記 事 項																																										
① 防 火 材 料	屋内の壁及び天井の仕上り材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。																																										
② 素地ごしらえ	木部の素地ごしらえ (18・2・2) (表18・2・1) ・ A 種 ※ B 種 鉄鋼面の素地ごしらえ (18・2・3) (表18・2・2) ・ A 種 ・ B 種 ※ C 種 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ (18・2・4) (表18・2・3) ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 モルタル及びプaster一面の素地ごしらえ (18・2・5) (表18・2・4) ※ A 種 ・ B 種 コンクリート、A L C、押出し成形セメント板面の素地ごしらえ (18・2・6) (表18・2・5) ・ A 種 ◎ B 種 (表18・2・6) せつこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえ (18・2・7) (表18・2・7) ※ A 種 ・ B 種																																										
3 錆止め塗料塗り	(18・3・2) (表18・3・1) <table><tr><th>種 別</th><th>規格番号</th><th>規格名称</th><th>適 用</th></tr><tr><td>※ A 種</td><td>J I S K 5 6 2 2</td><td>鉛丹さび止めペイント</td><td>屋外 屋内</td></tr><tr><td>・ A 種</td><td>J I S K 5 6 2 9</td><td>鉛酸カルシウムさび止めペイント</td><td>屋外 屋内</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>J I S K 5 6 2 1</td><td>一般用さび止めペイント</td><td>屋内</td></tr></table>	種 別	規格番号	規格名称	適 用	※ A 種	J I S K 5 6 2 2	鉛丹さび止めペイント	屋外 屋内	・ A 種	J I S K 5 6 2 9	鉛酸カルシウムさび止めペイント	屋外 屋内	・ B 種	J I S K 5 6 2 1	一般用さび止めペイント	屋内																										
種 別	規格番号	規格名称	適 用																																								
※ A 種	J I S K 5 6 2 2	鉛丹さび止めペイント	屋外 屋内																																								
・ A 種	J I S K 5 6 2 9	鉛酸カルシウムさび止めペイント	屋外 屋内																																								
・ B 種	J I S K 5 6 2 1	一般用さび止めペイント	屋内																																								
④ 塗 装 工 種	(表18・4・1) ~ (表18・17・1) <table><tr><th>記 号</th><th>名 称</th><th>種 別</th></tr><tr><td>S O P</td><td>・合成樹脂調合ペイント塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>C L</td><td>・クリヤーラッカー塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>N A D</td><td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>D P</td><td>・耐候性塗料塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>E P-G</td><td>・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>E P</td><td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>E P-T</td><td>・合成樹脂エマルジョン模様塗装塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>U C</td><td>・ウレタン樹脂ワニス塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>O S</td><td>・オイルステイン塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>W P</td><td>◎木材保護塗料塗り</td><td>・ A 種 ◎ B 種</td></tr><tr><td></td><td>・マステック塗材塗り</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	記 号	名 称	種 別	S O P	・合成樹脂調合ペイント塗り	・ A 種 ・ B 種	C L	・クリヤーラッカー塗り	・ A 種 ・ B 種	N A D	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	・ A 種 ・ B 種	D P	・耐候性塗料塗り	・ A 種 ・ B 種	E P-G	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・ A 種 ・ B 種	E P	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・ A 種 ・ B 種	E P-T	・合成樹脂エマルジョン模様塗装塗り	・ A 種 ・ B 種	U C	・ウレタン樹脂ワニス塗り	・ A 種 ・ B 種	O S	・オイルステイン塗り	・ A 種 ・ B 種	W P	◎木材保護塗料塗り	・ A 種 ◎ B 種		・マステック塗材塗り	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種						
記 号	名 称	種 別																																									
S O P	・合成樹脂調合ペイント塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
C L	・クリヤーラッカー塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
N A D	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
D P	・耐候性塗料塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
E P-G	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
E P	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
E P-T	・合成樹脂エマルジョン模様塗装塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
U C	・ウレタン樹脂ワニス塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
O S	・オイルステイン塗り	・ A 種 ・ B 種																																									
W P	◎木材保護塗料塗り	・ A 種 ◎ B 種																																									
	・マステック塗材塗り	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種																																									

19 内装工事

項 目	特 記 事 項			
1 ビニル床シート	(19・2・2)			
	種 類	記号	厚さ (mm)	工 法
	※耐水性ビニル床シート	V S -W		※熱溶接工法 ・ 突付け工法
	・耐荷重性床シート	V S -P		・熱溶接工法 ・ 突付け工法
	・耐薬品ビニル床シート	V S -K		・熱溶接工法 ・ 突付け工法
2 ビニル床タイル	(19・2・2)			
	種 類	記号	厚さ (mm)	工 法
	・コンポジションビニル床タイル	V T		・熱溶接工法 ・ 突付け工法
	・コンポジションビニル床タイル	C T S		・熱溶接工法 ・ 突付け工法
	・ホモジニアスビニル床タイル	H V T		・熱溶接工法 ・ 突付け工法
3 ゴム系床タイル	(19・2・2)			
	種 類	記号	厚さ (mm)	工 法
	・ゴム系タイル500角		3	・熱溶接工法 ※突付け工法
	・ゴム系タイル300角		5	・熱溶接工法 ※突付け工法

4 カーペット

4カーベット

カーベットの種類		工法の種類		備 考
・織じゅうたん		クリッター工法		下敷きを敷く
・ニードルパンチカーベット		全面接着工法		
・タイルカーベット		タイルカーベット全面接着工法		粘着はく離形接着剤を使用

5フローリング

種 別		樹 種	工 法	仕上塗料
天然木複合圧密フローリング		・なら・ひのき◎杉	◎2重貼り	◎有り ・無し

6合成樹脂塗床

種 類		仕上の種類		備 考
・弾性ウレタン塗り床材		・平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上		
・エポキシ樹脂塗り床材		・薄膜流し展べ仕上 ・厚膜流し展べ仕上		
・ポリウレタン防塵塗り床材		・平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上		

7畳敷き

畳の構成		種 別			
		A 種	B 種	C 種	D 種
J I S A 5 9 0 2	畳床	W R - 1	W R - 2	P S - C 2 0	K T - I、II、III
	畳表	J 1		C 2	

⑧籐マット

表材：籐100% ベース：合織不織布 厚さ8mm 粘着加工有り
株上田敷物 (RT-40AS) 同等品以上

⑨せっこうボード、
その他ボード及び
合板張り

種 類	記 号	厚さ (mm)	規格等
※せっこうボード	G B - R	※9.5 (準不燃)	※12.5 (不燃)
◎シーシングせっこうボード	G B - S	・9.5 (準不燃)	◎12.5 (準不燃)
・強化せっこうボード	G B - F	・15 (不燃)	
・せっこうラスボード	G B - L	・9.5	
・化粧せっこうボード	G B - D	・9.5 (不燃)	
・化粧せっこうボード (木目)	G B - D	・12.5 (不燃)	
・フレキシブルボード	A C	・4.0	
◎けい酸カルシウム板	ケイカル板	・6.0 ◎8.0 ・10.0	
・ロックウール化粧吸音板	G B	・9.0 (不燃) ◎12.0 (軒天用)	
◎メラミン化粧板	—	◎3.0	
・断熱毛セメント板	—	・15 ・20 ・25	

⑩壁紙張り

施工箇所	壁紙の種類		防火性能の級別	品質等
	・紙 ・織物 ・ビニル ・化学繊維			
洗面脱衣A,B			・一級 ※二級	※普及品

⑪断熱材

種 類		施工箇所	厚さ (mm)	品質等
◎押出法ポリスチレン フォーム保温板	2種b	・一般部	・25	特定フロンを使用 しないもの
・吹付硬質ウレタン フォーム断熱材 (現場発泡断熱材)	3種b	◎土層接地スラブ下面	◎50・100	
		・一般部	・25◎30	特定フロンを使用 しないもの
		・外壁RC部分	・25◎30	
グラスウール断熱材		◎外壁・天井・一部界壁	・75 ◎100	

12可動間仕切

構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材厚さ (mm)	仕 上
・パネル式	・60	・鋼板 ・0.6	・メラミン樹脂焼付け
・スタッド式			
・スタッドパネル式			

20 ユニット及びその他 工事

項 目	特 記 事 項																			
1 フリーアクセスフロア	(20・2・5) <table><tr><th>施工箇所</th><th>構 法</th><th>設定高さ (mm)</th><th>表面仕上材</th></tr><tr><td></td><td>パネル構法</td><td>・250未満</td><td>・帯電防止床タイル</td></tr><tr><td></td><td>溝構法</td><td>・50未満</td><td>・タイルカーペット</td></tr></table>				施工箇所	構 法	設定高さ (mm)	表面仕上材		パネル構法	・250未満	・帯電防止床タイル		溝構法	・50未満	・タイルカーペット				
施工箇所	構 法	設定高さ (mm)	表面仕上材																	
	パネル構法	・250未満	・帯電防止床タイル																	
	溝構法	・50未満	・タイルカーペット																	
2 トイレブース	(20・2・6) 材料 パネル表面材は、メラミン樹脂又はポリエステル樹脂系化粧板とし適用は特記による。 パネルの主要構成基材は、J I S A 6512 (可動間仕切) に規定する材料とする。 笠木、脚部、壁見切り金物、頭つなぎ等の構造金物は、J I S A 6512 に規定する材料のうち耐食性のあるものとする。なお、脚部は特記がなければ、幅木タイプとする。 ヒンジ等の附属金物は、製造所の仕様による。																			
2 階 段 滑 止 め	材種 形式	・ステンレス (SUS304) ・ビニルタイヤ入り		(20・2・6)																
3 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	材種	・アルミ製 ・木製																		
4 カーテンレール	(20・2・14) <table><tr><th>種 別</th><th>材 種</th><th>種 類</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※カーテン用</td><td>・アルミニウム</td><td>・軽量用 ※中量用</td><td></td></tr><tr><td>・暗幕用</td><td>・アルミニウム</td><td>・軽量用 ・中量用</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				種 別	材 種	種 類	備 考	※カーテン用	・アルミニウム	・軽量用 ※中量用		・暗幕用	・アルミニウム	・軽量用 ・中量用					
種 別	材 種	種 類	備 考																	
※カーテン用	・アルミニウム	・軽量用 ※中量用																		
・暗幕用	・アルミニウム	・軽量用 ・中量用																		
5 掲 示 板	材質	・アクリル板 ◎アルミ材 ・ステンレス製																		

21 排水工事

項 目	特 記 事 項			
① 排 水 管	(21・2・1)			
	材 種	管の種類	管形状（接合方法）	
	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 ・ 1 種 ・ 2 種	・ B 形（ゴム接合）	
	※硬質塩化ビニル管	・ V P ※ V U		
② 排 水 樹 及 び 蓋	(21・2・2)			
	鋳鉄製マンホールふた			
	種 類	適用荷重		
	・水封形 ・簡易気密形（パッキン式）	・密閉形 ・中蓋付密閉形	・ T - 2 用 ・ T - 6 用 ・ T - 2 0 用	
	グレーティングふた			
	材 種	型 式	種 類	適用荷重
	・鋼製 ※ステンレス製	※受け枠付	・溝ふた用 ※樹ふた用 ※U字溝用	※歩行用 ・ T - 2 用 ※ T - 6 用 ・ T - 1 4 用 ・ T - 2 0 用
③ 浸透管及び浸透樹	※設備図による。			

22 鋪裝工事

項 目	特 記 事 項			
① 盛土に用いる材料	・ A種 ◎B種 ・ C種 ・ D種 (22・2・3) (表3・2・1)			
2 遮断層及び凍上抑制層の材料	遮断層 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切り込み砂利 (22・2・3)			
3 路床安定処理用材料	(22・2・3) (表22・2・2)			
	種 類	規格番号	規格名称	
	・ 普通ポルトランドセメント	J I S R 5210	ポルトランドセメント	
	・ フライアッシュセメントB種	J I S R 5213	フライアッシュセメント	
	・ 生石灰 (特号 1号)	J I S R 9001	工業用石灰	
	・ 消石灰 (特号 1号)	J I S R 9001	工業用石灰	
④ 路 盤 材 料	◎再生クラッシャラン (RC-40) (22・3・3) (表22・3・3) ・クラッシャラン (C-40) 又はクラッシャランスラグ (CS-40)			
5 アスファルト舗装	(22・4・2) (表22・4・1)			
	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	
	・ アスファルト舗装	・ 無し ・ 有り	・ 顔料混入加熱アスファルト混合物	
	・ カラーアスファルト舗装	・ 無し ・ 有り		
6 コンクリート舗装	(22・5・2) (表22・5・1)			
	舗装の種類	部 位	舗装の厚さ (mm)	備 考
	・ コンクリート舗装	・ 車道部	・ 150	溶接金網
		・ 歩道部	・ 70	溶接金網
	・ 転圧コンクリート舗装	・ 車道部	・ 150	溶接金網
⑦ 透水性アスファルト舗装	(22・6・2)			
	舗装の種類	部 位	舗装の厚さ (mm)	備 考
	※透水性アスファルト	・ 車道部	・ 50	
		※歩道部	※30	
⑧ ブロック系舗装	インターロッキング舗装 (22・8・2)			
	ブロックの種類	部 位	舗装の厚さ (mm)	備 考
	・ 標準ブロック	・ 車道部	・ 80	
	◎透水性ブロック	◎歩道部	◎80	
	・ 植生ブロック		・ 80 ・ 100	
⑨ 砂 利 敷 き	通路部分 ・ A種 ・ B種 建物周囲その他 ◎A種 ・ B種			

23 植栽工事

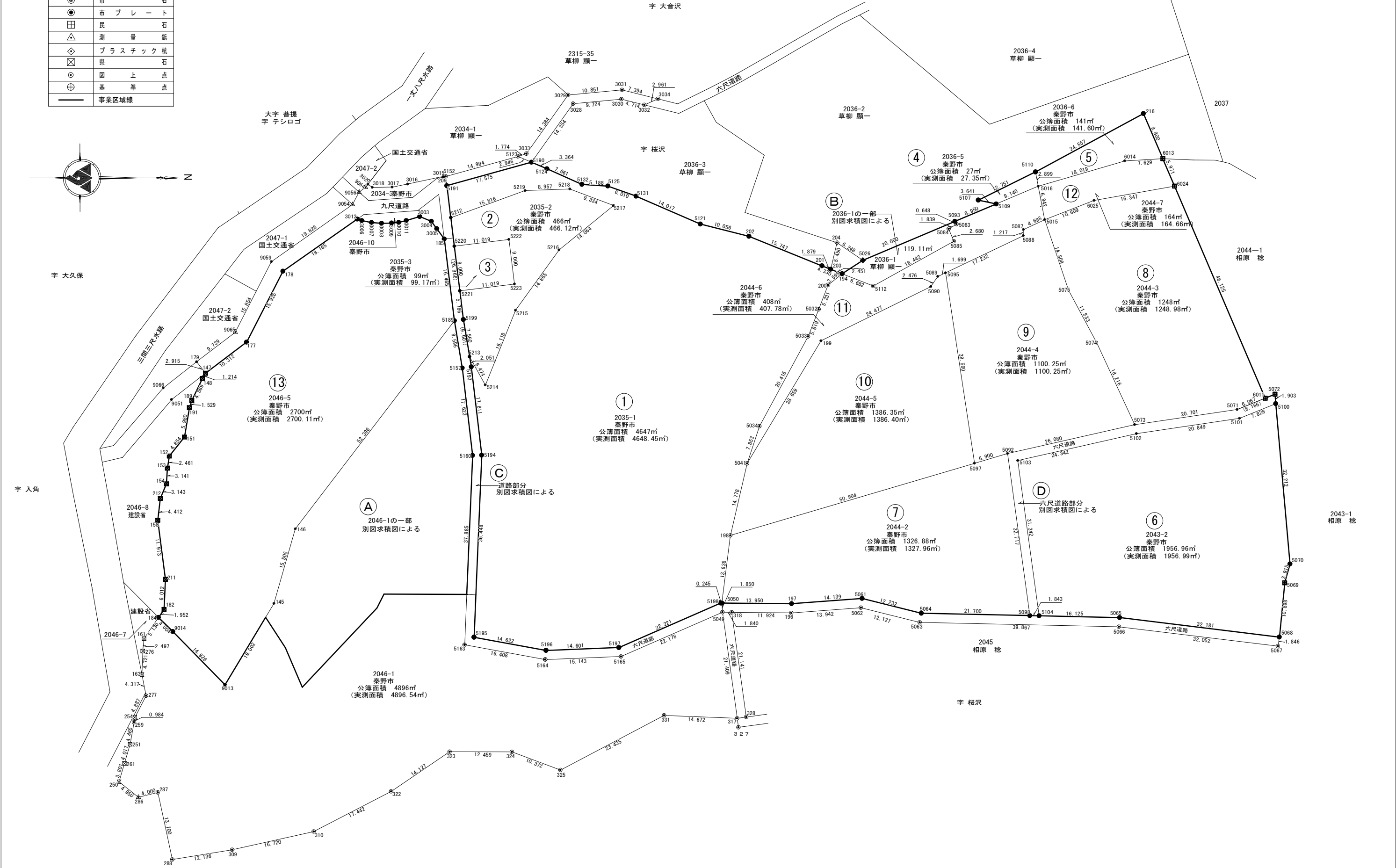
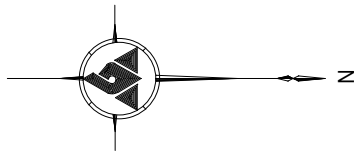
項 目	特 記 事 項					
1 植栽基盤整備	・ 行う ◎行わない (23・2・2) (表23・2・1)					
		樹 木				芝、地被類
		高 木		低 木		
	樹 高	12m以上	7~12m	3~7m	3m以下	
	有効土層 (cm)	100	80	60	50	
	植栽基盤整備工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種					
2 植樹及び芝張り	(23・2・2) (表23・2・2)					
2 植樹及び芝張り	[仕様書 (23・3・1) (23・4・3) による。]					
③ 伐採及び抜根	◎高木 (桜H=20m) 伐採 抜根 6本					

24 その他

項 目	特 記 事 項

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	特記仕様書 4	縮尺	設計年月日	A-04
									非縮尺	平成25年3月	

凡 例		
◎	市	石
●	市	ブ レ ー ト
田	民	石
△	測	量 紙
◇	プ	ラ ス チ ャ ッ 杭
×	県	石
○	図	上 点
⊕	基	準 点
—	事業区域線	



	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤 樹					図面名	敷地求積図-1	縮尺	設計年月日	
										1/500	平成25年3月	

地番	2035-1番		
所有者		秦野市	
点番	X	Y	辺長
194	-64918.053	-58156.917	
203	-64920.334	-58157.814	2.451
201	-64922.083	-58158.502	1.879
202	-64936.685	-58164.398	15.747
5121	-64946.435	-58166.858	10.056
5131	-64959.294	-58172.438	14.017
5125	-64964.956	-58174.454	6.010
5132	-64970.134	-58174.783	5.188
5124	-64977.125	-58177.917	7.661
5190	-64980.223	-58179.229	3.364
5191	-64997.160	-58174.537	17.575
5212	-64996.367	-58168.136	6.450
5219	-64981.508	-58173.554	15.816
5218	-64972.557	-58173.869	8.957
5217	-64963.828	-58170.563	9.334
5216	-64974.723	-58161.670	14.064
5215	-64983.420	-58149.615	14.865
5214	-64989.455	-58134.670	16.118
5213	-64992.599	-58140.329	6.474
5193	-64992.261	-58138.306	2.051
5194	-64990.177	-58120.617	17.811
5195	-64991.705	-58084.201	36.448
5196	-64977.323	-58081.565	14.622
5197	-64962.734	-58082.159	14.601
5198	-64942.357	-58091.021	22.221
5050	-64942.113	-58091.044	0.245
198	-64940.402	-58104.574	13.638
5041	-64937.064	-58118.970	14.778
5034	-64934.589	-58126.423	7.853
5033	-64924.861	-58144.371	20.415
5032	-64922.745	-58149.792	5.819
200	-64920.861	-58154.672	5.231
194	-64918.053	-58156.917	3.595
面積	4648.4505055		
地積	4648.45㎡		
公簿	4647.00㎡		

地番	2035-2番			
所有者		秦 野 市		
点番	X	Y	辺 長	
5212	-64996.367	-58168.136		
5220	-64995.660	-58162.430	5.750	
5222	-64984.725	-58163.785	11.019	
5223	-64983.618	-58154.853	9.000	
5221	-64994.553	-58153.498	11.019	
5199	-64993.844	-58147.776	5.766	
5213	-64992.599	-58140.329	7.550	
5214	-64989.455	-58134.670	6.474	
5215	-64983.420	-58149.615	16.118	
5216	-64974.723	-58161.670	14.865	
5217	-64963.828	-58170.563	14.064	
5218	-64972.557	-58173.869	9.334	
5219	-64981.508	-58173.554	8.957	
5212	-64996.367	-58168.136	15.816	
面積	466.1208205			
地積	466.12㎡			
公簿	466.00㎡			

地 番	2035-3番		
所 有 者		秦 野 市	
点 番	X	Y	辺 長
5220	-64995.660	-58162.430	
5221	-64994.553	-58153.498	9.000
5223	-64983.618	-58154.853	11.019
5222	-64984.725	-58163.785	9.000
5220	-64995.660	-58162.430	11.019
面 積	99.1714050		
地 積	99.17 m ²		
公 簿	99.00 m ²		

地番	2036-1番			
所有者		草 柳 顯 一		
点番	X	Y	辺 長	
5093	-64895.497	-58167.397		
5026	-64913.921	-58159.615	20.000	
204	-64919.093	-58163.121	6.248	
203	-64920.334	-58157.814	5.450	
194	-64918.053	-58156.917	2.451	
5112	-64911.835	-58154.471	6.682	
5085	-64895.713	-58163.426	18.442	
5084	-64896.738	-58165.902	2.680	
5083	-64895.159	-58166.844	1.839	
5093	-64895.497	-58167.397	0.648	
面積	119.1106550			
地積	119.11			m ²

地番	2036-5番		
所有者		秦野市	
点番	X	Y	辺長
5016	-64878.833	-58174.437	
5110	-64879.380	-58177.284	2.899
5107	-64890.814	-58171.640	12.751
5109	-64887.253	-58170.880	3.641
5016	-64878.833	-58174.437	9.140
面積	27.3527715		
地積	27.35㎡		
公簿	27.00㎡		

地番	2036-6番		
所有者		秦野市	
点番	X	Y	辺長
6013	-64853.919	-58179.943	
6014	-64861.534	-58179.480	7.629
5016	-64878.833	-58174.437	18.019
5110	-64879.380	-58177.284	2.899
216	-64857.773	-58188.953	24.557
6013	-64853.919	-58179.943	9.800
面積	141.6001640		
地積	141.60㎡		
公簿	141.00㎡		

地番	2043-2番			
所有者		秦野市		
点番	X	Y	辺長	
5100	-64831.320	-58130.939		
5101	-64838.577	-58128.003	7.828	
5102	-64859.201	-58124.951	20.849	
5103	-64882.934	-58119.540	24.342	
5104	-64878.655	-58088.491	31.342	
5065	-64862.534	-58088.135	16.125	
5068	-64830.590	-58084.240	32.181	
5069	-64829.533	-58095.087	10.898	
5070	-64828.467	-58098.854	3.915	
5100	-64831.320	-58130.939	32.212	
面積	1956.9902910			
地積	1956.99			m ²
公簿	1956.96			m ²

地番	2044-2番			
所有者		秦野市		
点番	X	Y	辺長	
198	-64940.402	-58104.574		
5050	-64942.113	-58091.044	13.638	
197	-64928.164	-58090.906	13.950	
5061	-64914.064	-58091.960	14.139	
5064	-64902.193	-58089.010	12.232	
5098	-64880.498	-58088.532	21.700	
5092	-64884.964	-58120.943	32.717	
5097	-64891.582	-58118.989	6.900	
198	-64940.402	-58104.574	50.904	
面積	1327.9668370			
地積	1327.96㎡			
公簿	1326.88㎡			

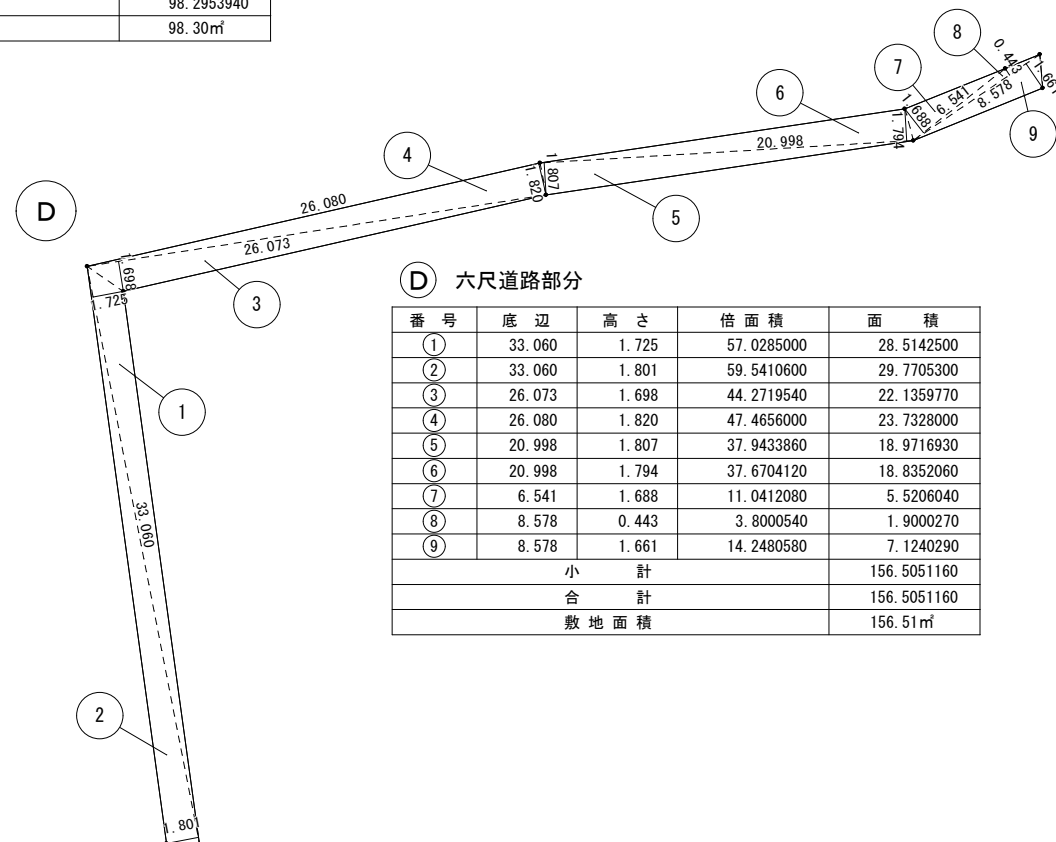
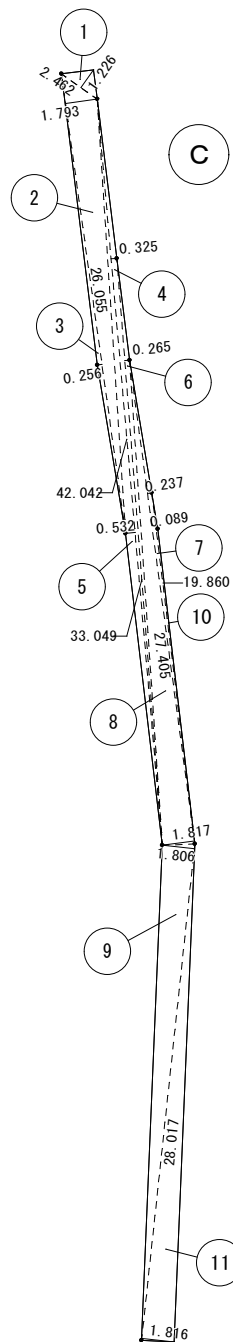
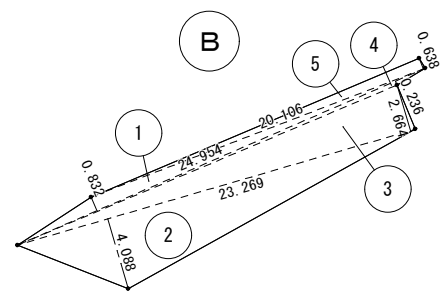
地番	2044-3番			
所 有 者		秦 野 市		
点 番	X	Y	辺 長	
6024	-64851.571	-58174.453		
6025	-64867.665	-58171.587	16.347	
5015	-64877.543	-58167.718	10.609	
5075	-64872.805	-58153.688	14.808	
5074	-64867.203	-58143.265	11.833	
5073	-64859.537	-58126.741	18.216	
5071	-64839.059	-58129.771	20.701	
6011	-64833.434	-58132.044	6.067	
6024	-64851.571	-58174.453	46.125	
面積	1248.9890990			
地積	1248.98㎡			
公簿	1248.00㎡			

地番	2044-4番			
所 有 者		秦 野 市		
点 番	X	Y	辺 長	
5015	-64877.543	-58167.718		
5087	-64881.802	-58165.742	4.695	
5088	-64881.824	-58164.525	1.217	
5095	-64897.380	-58157.111	17.232	
5097	-64891.582	-58118.989	38.560	
5092	-64884.964	-58120.943	6.900	
5073	-64859.537	-58126.741	26.080	
5074	-64867.203	-58143.265	18.216	
5075	-64872.805	-58153.688	11.833	
5015	-64877.543	-58167.718	14.808	
面積	1100.2505580			
地積	1100.25㎡			
公簿	1100.25㎡			

地番	2044-5番		
所有者		秦野市	
点番	X	Y	辺長
5095	-64897.380	-58157.111	
5089	-64898.914	-58156.380	1.699
5090	-64900.332	-58154.350	2.476
199	-64922.285	-58143.524	24.477
5041	-64937.064	-58118.970	28.659
198	-64940.402	-58104.574	14.778
5097	-64891.582	-58118.989	50.904
5095	-64897.380	-58157.111	38.560
面積	1386.4045470		
地積	1386.40 m ²		
公簿	1386.35 m ²		

地番		2044-6番	
所有者		秦野市	
点番	X	Y	辺長
5109	-64887.253	-58170.880	
5093	-64895.497	-58167.397	8.950
5083	-64895.159	-58166.844	0.648
5084	-64896.738	-58165.902	1.839
5085	-64895.713	-58163.426	2.680
5112	-64911.835	-58154.471	18.442
194	-64918.053	-58156.917	6.682
200	-64920.861	-58154.672	3.595
5032	-64922.745	-58149.792	5.231
5033	-64924.861	-58144.371	5.819
5034	-64934.589	-58126.423	20.415
5041	-64937.064	-58118.970	7.853
199	-64922.285	-58143.524	28.659
5090	-64900.332	-58154.350	24.477
5089	-64898.914	-58156.380	2.476
5095	-64897.380	-58157.111	1.699
5088	-64881.824	-58164.525	17.232
5087	-64881.802	-58165.742	1.217
5015	-64877.543	-58167.718	4.695
5016	-64878.833	-58174.437	6.842
5109	-64887.253	-58170.880	9.140
面積		407.7879815	
地積		407.78	m ²
公簿		408.00	m ²

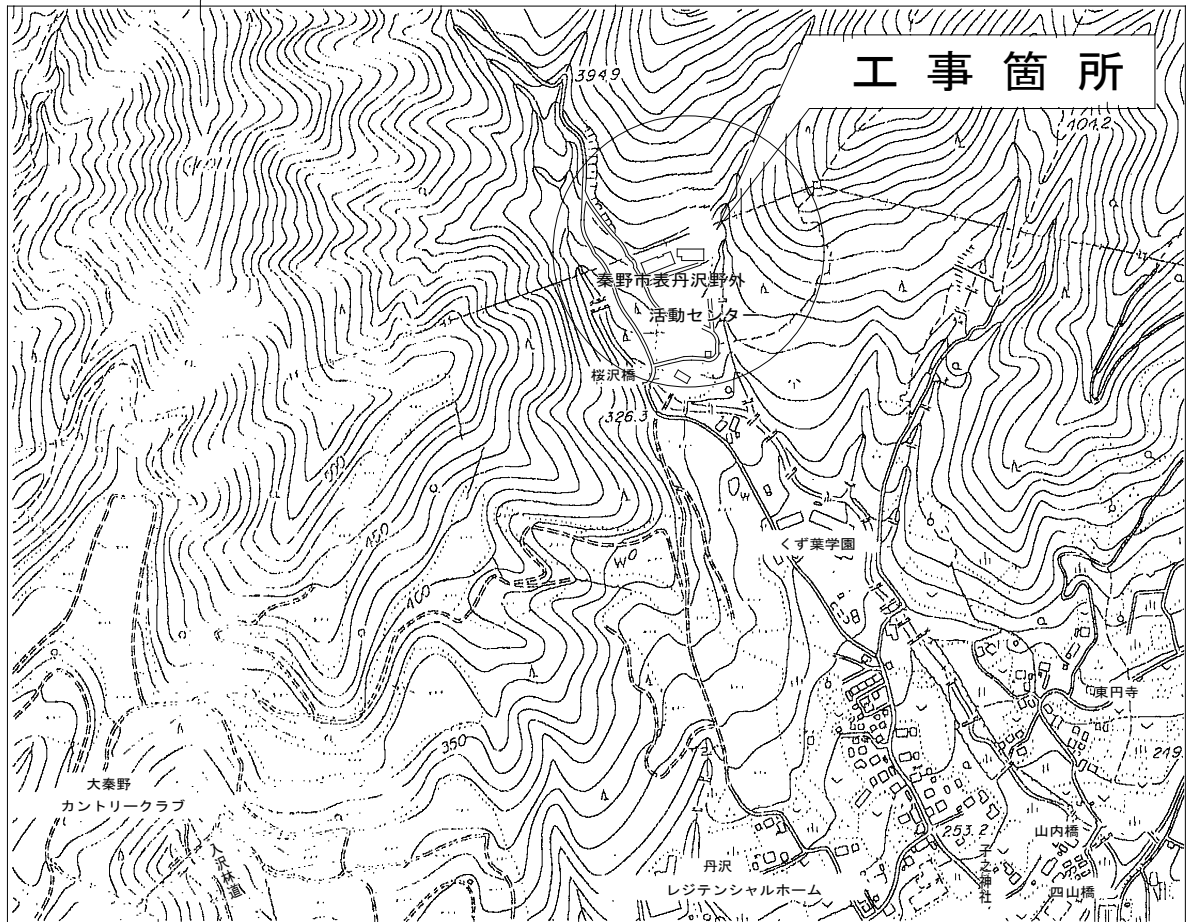
Ⓐ 2046-1の一部



表丹沢野外活動センター敷地面積求積表(事業用地)

※ 対象地は全て、秦野市 大字菩提 小字桜沢
※ 面積は測量図実測値及び求積図実測による_（実；実測値、求；求積図を示す）

案内図



工事概要

工事名称	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事	建築主 住所氏名	神奈川県秦野市桜町1丁目3番2号									
工事箇所	神奈川県秦野市菩提2043-2他		秦野市長 古谷義幸									
主要用途	野外活動施設(浴場)		〒 2 5 7 - 8 5 0 1 連絡先 0463-82-5111									
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・室内装飾用途変更(大規模の模様替)・仮設建築・解体・移設・移転											

敷地状況

敷地面積	実 測： 18,836.74 m ²	建べい率	基準建べい率	20%
		容積率	基準容積率	60%
用途地域	第()種低層住居専用 第()種中高層住居専用 近隣商業・商業・準工業 工業・工業専用[指定なし]・都市公園地内	日影制限	平均地盤面の高さ	m
防火地域	防火・準防火・特定行政庁の指定地域[指定なし]		敷地境界線より5mを超え10m以内の範囲 敷地境界線より10mを超える範囲	時間内 時間内
その他の地域地区	都市計画区域外・都市計画区域外・市街化区域[市街化調整区域]・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業区域・特定街区・改良地区 文教地区(第種)・風致地区(第種)・高度地区(第種)・駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雪地区・災害危険地区 緑地地区・土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他[丹沢大山国定公園]・砂防区域			

既存建物概要

	活動棟	便所棟	八角の館	炊事棟	管理棟	研修棟	渡り廊下	ポンプ機械室	ボイラー機械室	チップ庫	倉庫	合計
建 築 面 積	571.11	107.58	128.52	109.06	86.67	601.15	23.73	26.25	52.00	28.98	26.44	1761.49 m ²
床 面 積	548.46	93.36	108.72	109.06	82.13	1127.12	23.73	26.25	52.00	28.98	26.44	2226.25 m ²
建 ペイ 率	3.26%	0.61%	0.73%	0.62%	0.49%	3.43%	0.14%	0.15%	0.30%	0.17%	0.15%	9.35%
容 積 率	3.13%	0.53%	0.62%	0.62%	0.47%	6.43%	0.14%	0.15%	0.30%	0.17%	0.15%	11.83%

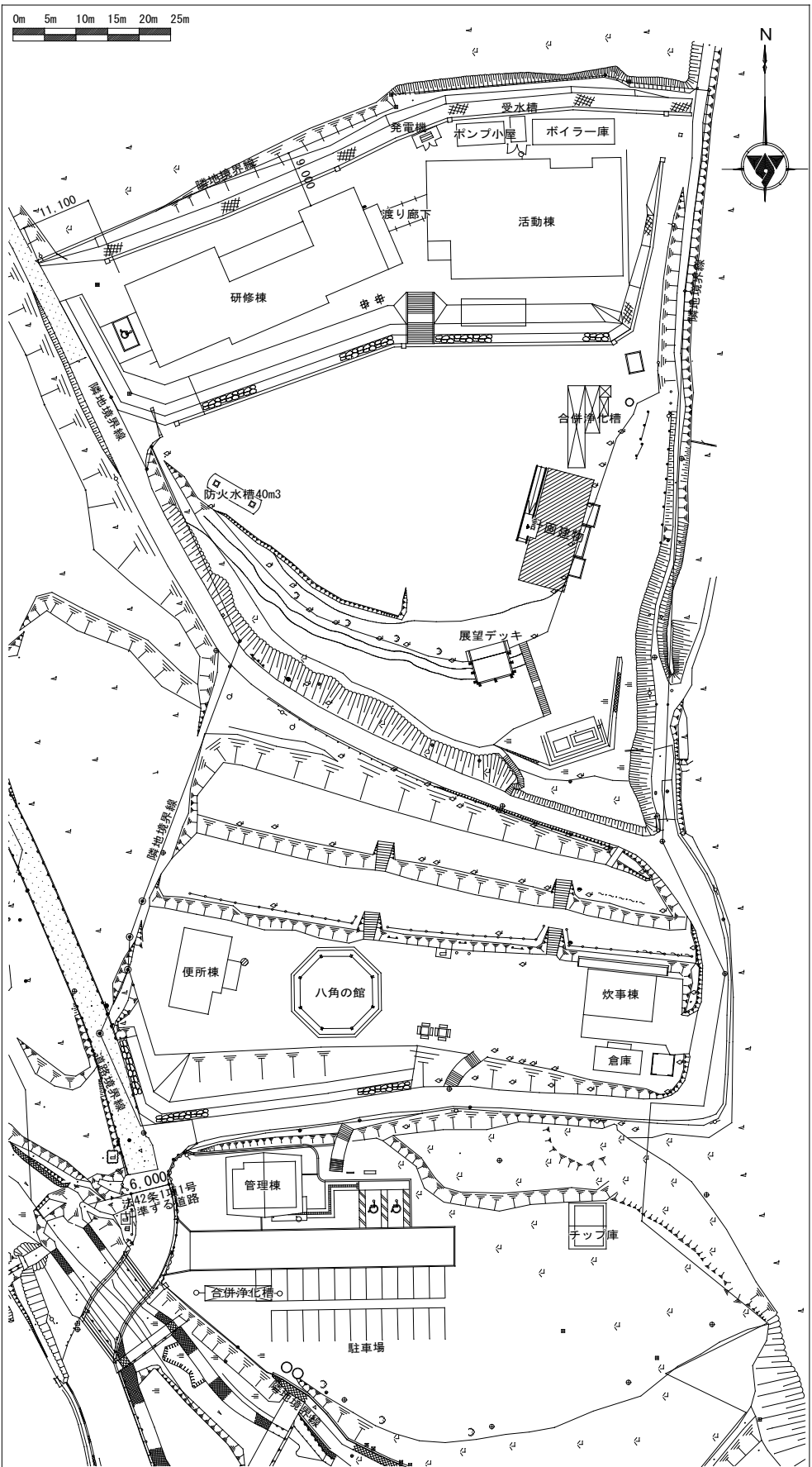
申請建物概要

構 造	木造	階 数	1 階
構造形式	在来	最高高さ	5.315 m
基 礎	鋼管杭布基礎	最高軒高	3.300 m
その他			
建 築 面 積	132.50		132.50 m ²
床 面 積	129.60		129.60 m ²
建 ベイ 率	0.76%		0.76%
容 積 率	0.74%		0.74%

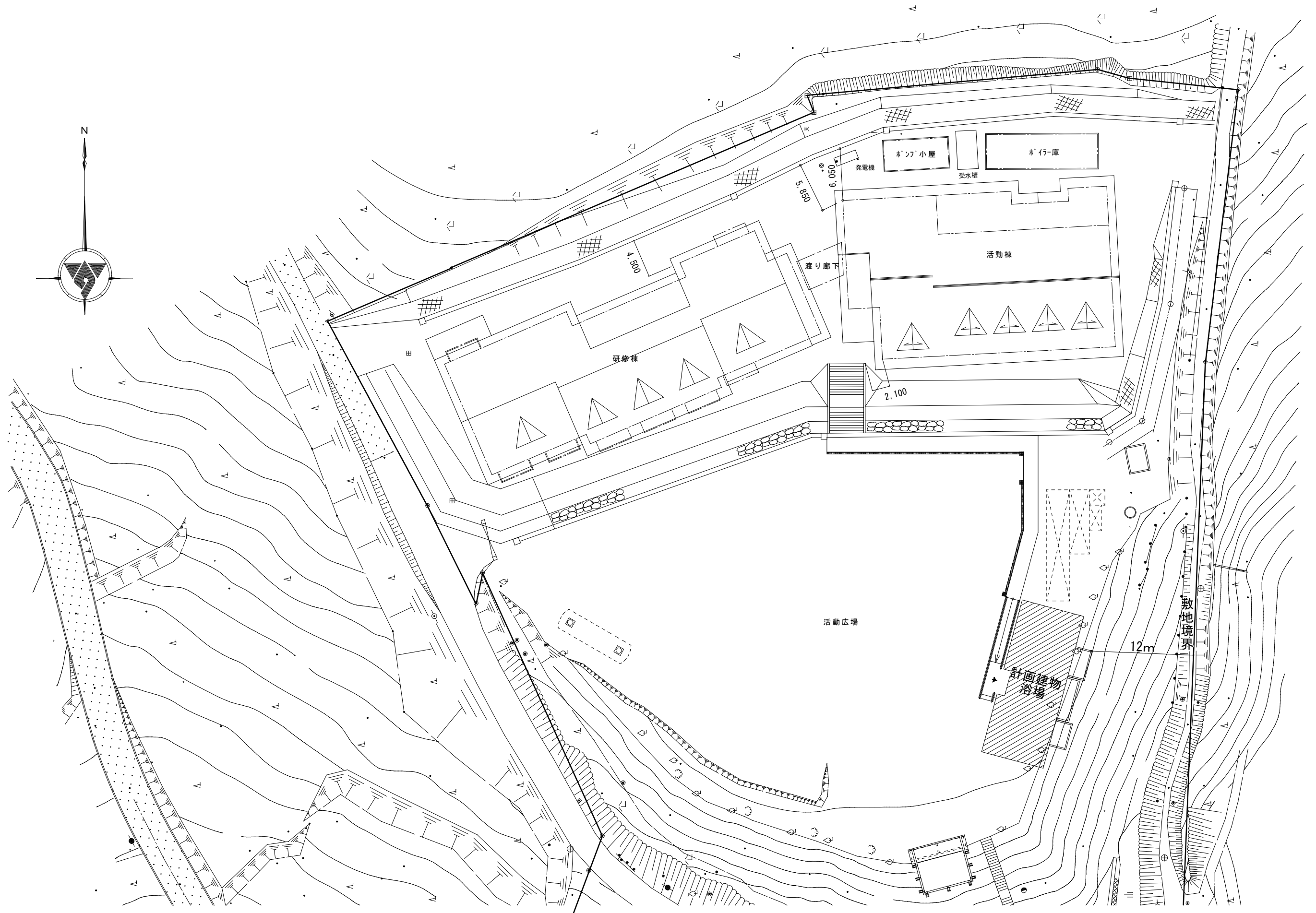
增築申請概要

	申請部分	申請以外の部分	合 計
建 築 面 積	132.50	1761.49	1893.99 m ²
床 面 積	129.60	2226.25	2355.85 m ²
建 ベイ 率	0.76%	10.05%	10.81%
容 積 率	0.74%	12.71%	13.54%

現況図 S = 1 / 7 0 0



	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	工事概要 案内図 現況図	縮尺	設計年月日	A-08
									非縮尺	平成25年3月	



	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤 樹					図面名	配置図	縮尺	設計年月日	A-09	
										1/300	平成25年3月		

外部仕上表

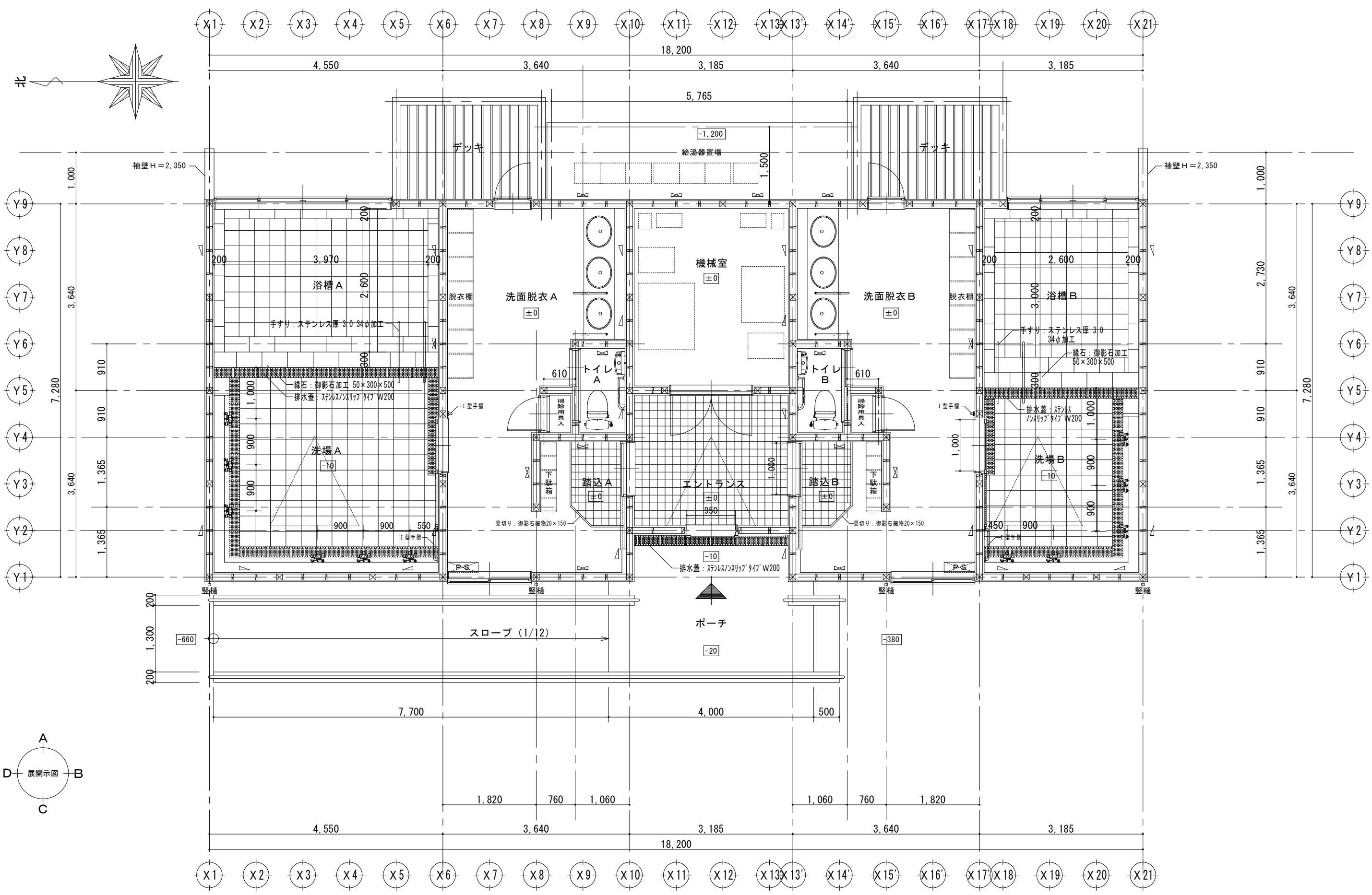
部 位	仕 上 げ	部 位	仕 上 げ	部 位	仕 上 げ
屋 根	カラーガルバリウム鋼板 厚 0.4 ダブル嵌合式瓦葺き アスファルトルーフィング 940 棟包み：カラーガルバリウム鋼板 厚 0.4 破風鼻隠し：檜 24×150 24×100 木材保護着色塗料3回塗り 軒裏：杉小幅板（県産品さね付）12×120 木材保護着色塗料3回塗り 軒先換気口：アルミパンチングメタル 雪止め：Ｌ－50×50×6亜鉛メッキ	外 壁	杉小幅板（秦野産品さね付）15×120 木材保護着色塗料3回塗り 見切り：杉 40×50 木材保護塗装 含水率15%以下 最低気温＋5℃以上時塗装	スロープ ポーチ	モルタル塗り厚 30（刷毛引き） 落下防止柵：ステンレス製φ50 厚3.0 加工
腰 壁	水切り：カラーステンレス厚 0.5 加工	開口部	アルミサッシ 強化硝子（アルマイト処理、電解2次着色）	デッキ	檜（秦野産品）木材保護着色塗料3回塗り 目隠し柵：竹製編み込み H－1,800

内部仕上表

	室 名	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	天井高	備 考
共用	エントランス	モルタル下地磁器質タイル150角 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	杉小幅板（秦野産品さね付）12×100 木材保護着色塗料3回塗り 木胴縁組み	杉小幅板（秦野産品さね付）9×100 木材保護着色塗料3回塗り 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	3,500	
	機械室	モルタル金ゴテ仕上 厚 30 基礎コンクリート 厚 200	杉30×100	ケイ酸カルシウム板 厚 8.0 素地 木胴縁組み	ケイ酸カルシウム板 厚 8.0 素地 木野縁組み	塩ビ製	3,000	
浴室 Ａ	踏 込	モルタル下地磁器質タイル150角 籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木胴縁組み	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,500	下駄箱２０人分
	脱衣洗面Ａ	籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 洗面台前：針葉樹構造用合板 厚 12 下張り 木胴縁組み	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,500	洗面器３ 洗面器手摺１ カガミ３ 脱衣棚２０人分 Ⅰ型手摺１
	トイレ	籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木胴縁組み	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,300	洋便器１ 手洗器１ Ⅱ型手摺１ ペーパーホルダー２連式１
	掃除用具入	籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	針葉樹構造用合板 厚 12 ＯＳＣＬ 木胴縁組み	針葉樹構造用合板 厚 12 ＯＳＣＬ 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,300	
	洗 場	石目調タイル 300×300 アスファルト防水 シンダーコンクリート 厚 100 基礎コンクリート 厚 150		腰壁：石目調タイル 150×150 コンクリート下地 上壁：塩ビ製バスリブ 木胴縁組み	塩ビ製バスリブ（勾配天井） 木野縁組み	塩ビ製	2,580～4,450	シャワー水栓６ カガミ6
	浴 槽	石目調タイル 300×300 アスファルト防水 シンダーコンクリート 厚 100 基礎コンクリート 厚 200		腰壁：石目調タイル 150×150 コンクリート下地 上壁：塩ビ製バスリブ 木胴縁組み	塩ビ製バスリブ（勾配天井） 木野縁組み	塩ビ製	2,580～4,450	Ⅰ型手摺１
浴室 Ｂ	踏 込	モルタル下地磁器質タイル150角 籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木胴縁組み	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,500	下駄箱２０人分
	脱衣洗面	籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 洗面台前：針葉樹構造用合板 厚 12 下張り 木胴縁組み	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,500	洗面器３ 洗面器手摺１ カガミ３ 脱衣棚２０人分 Ⅰ型手摺１
	トイレ	籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木胴縁組み	ビニールクロス貼り シーリングボード厚12下地 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,300	洋便器１ 手洗器１ Ⅱ型手摺１ ペーパーホルダー２連式１
	掃除用具入	籐マット 厚 8 接着貼り フリーフロア 針葉樹構造用合板 厚 18 下張り 基礎コンクリート 厚 150	杉30×100 ＯＳＣＬ	針葉樹構造用合板 厚 12 ＯＳＣＬ 木胴縁組み	針葉樹構造用合板 厚 12 ＯＳＣＬ 木野縁組み	杉 20×60 ＯＳＣＬ	2,300	
	洗 場	石目調タイル 300×300 アスファルト防水 シンダーコンクリート 厚 100 基礎コンクリート 厚 150		腰壁：石目調タイル 150×150 コンクリート下地 上壁：塩ビ製バスリブ 木胴縁組み	塩ビ製バスリブ（勾配天井） 木野縁組み	塩ビ製	2,580～4,450	シャワー水栓５ カガミ5
	浴 槽	石目調タイル 300×300 アスファルト防水 シンダーコンクリート 厚 100 基礎コンクリート 厚 200		腰壁：石目調タイル 150×150 コンクリート下地 上壁：塩ビ製バスリブ 木胴縁組み	塩ビ製バスリブ（勾配天井） 木野縁組み	塩ビ製	2,580～4,450	Ⅰ型手摺１

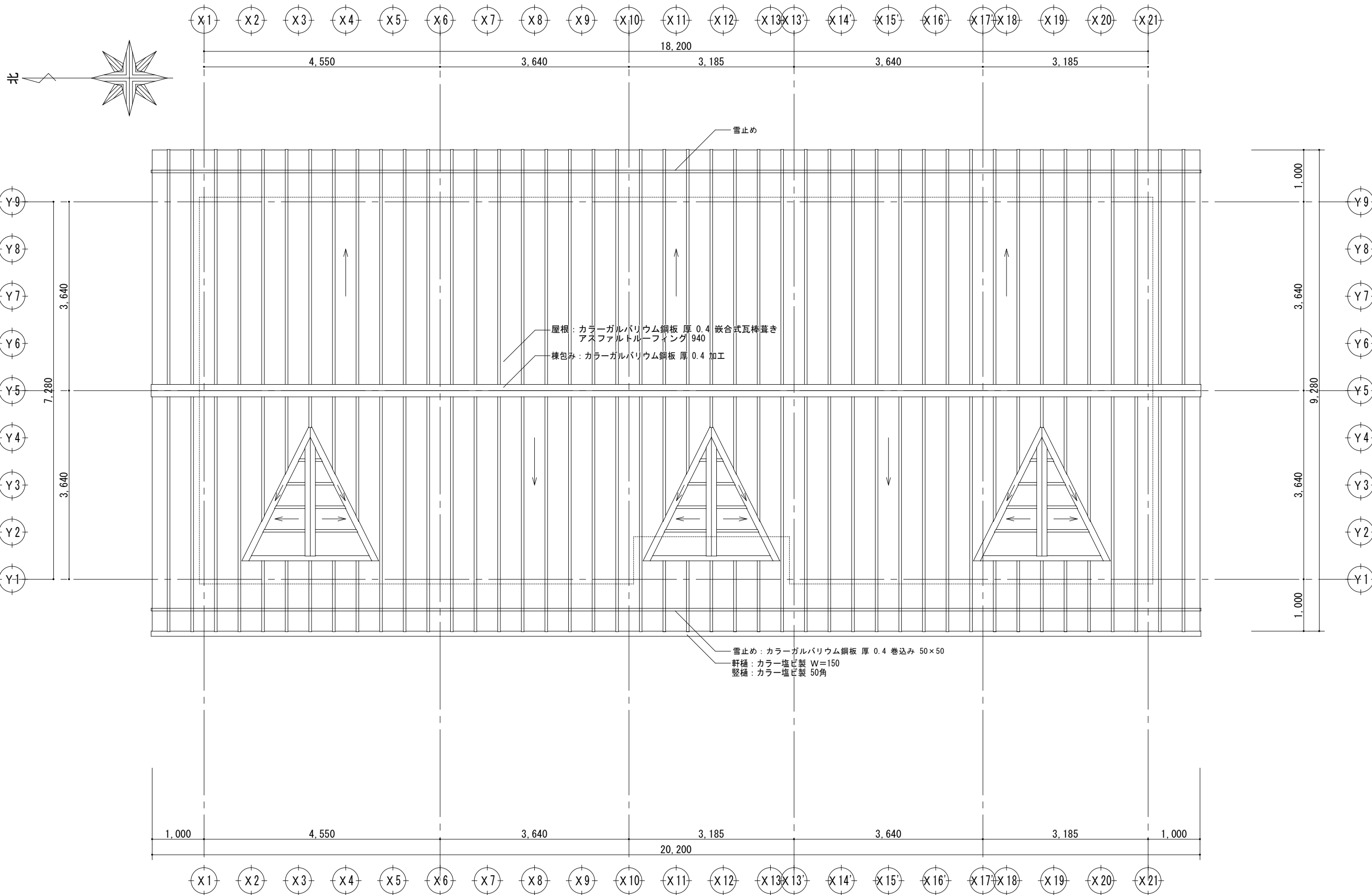
特記事項	A	図中特記以外は「公共建築工事標準仕様書」平成23年版による。	E	外部の建具廻り（変成シリコン 2成分形）
	B	見本品、カラーサンプルを提出して監督員の承認を受けること。	F	ガラス廻り（シリコン 1成分形）
	C	使用する仕上げ材、下地材は全てF☆☆☆☆とする。		
	D	指定建築材料にはJ I S又はJ A Sの製品を使用する。		
	E	外壁仕上げと枠周囲との取合い箇所及び外壁を貫通するパイプ廻り（変成シリコン 2成分形）		

※秦野産品：秦野産材を利用するものとし、その証明等（秦野産材認証制度の認定ではない）の提出を行うこと。	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成２５年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤 樹					図面名	仕上表	縮尺	設計年月日	A－１０
										非縮尺	平成２５年３月	

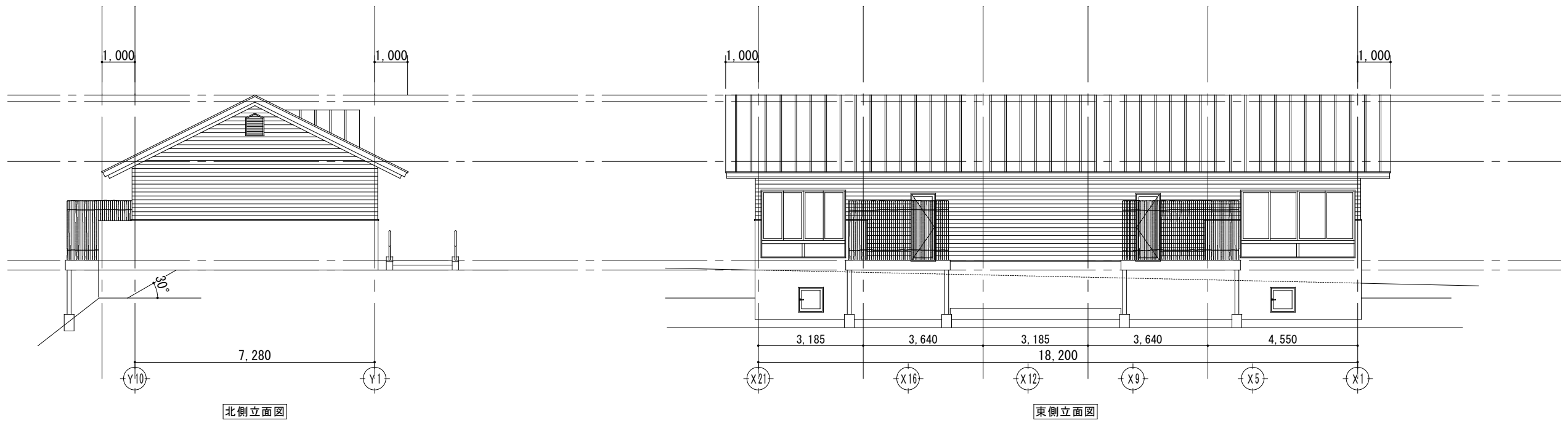
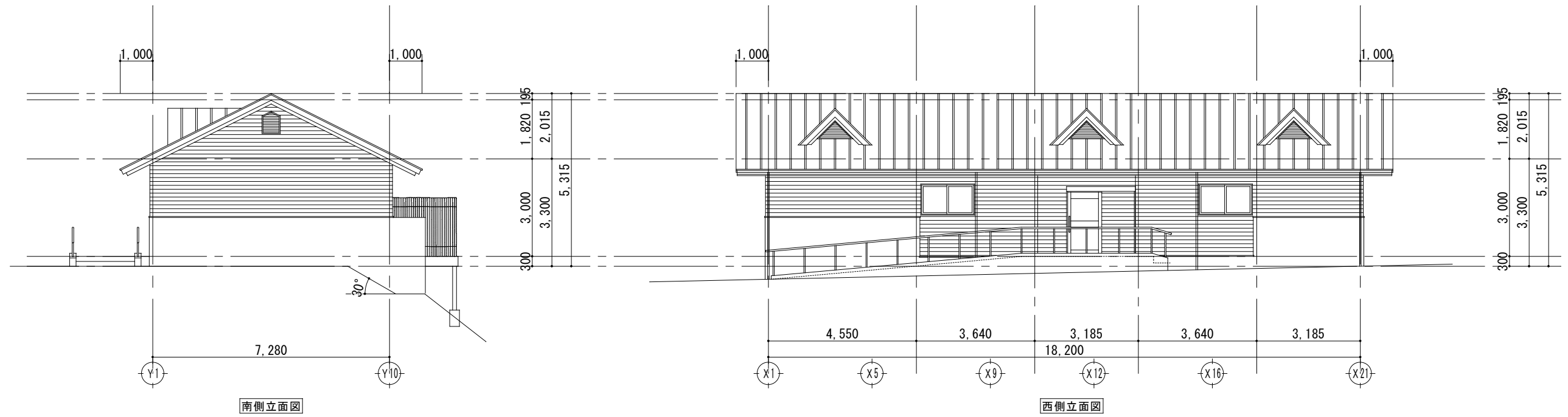


平面詳細図 1 : 50

	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事		図面番号	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502号		熊谷 藤 樹					図面名	平面詳細図	縮尺	設計年月日	A-11
										1/50	平成25年3月	

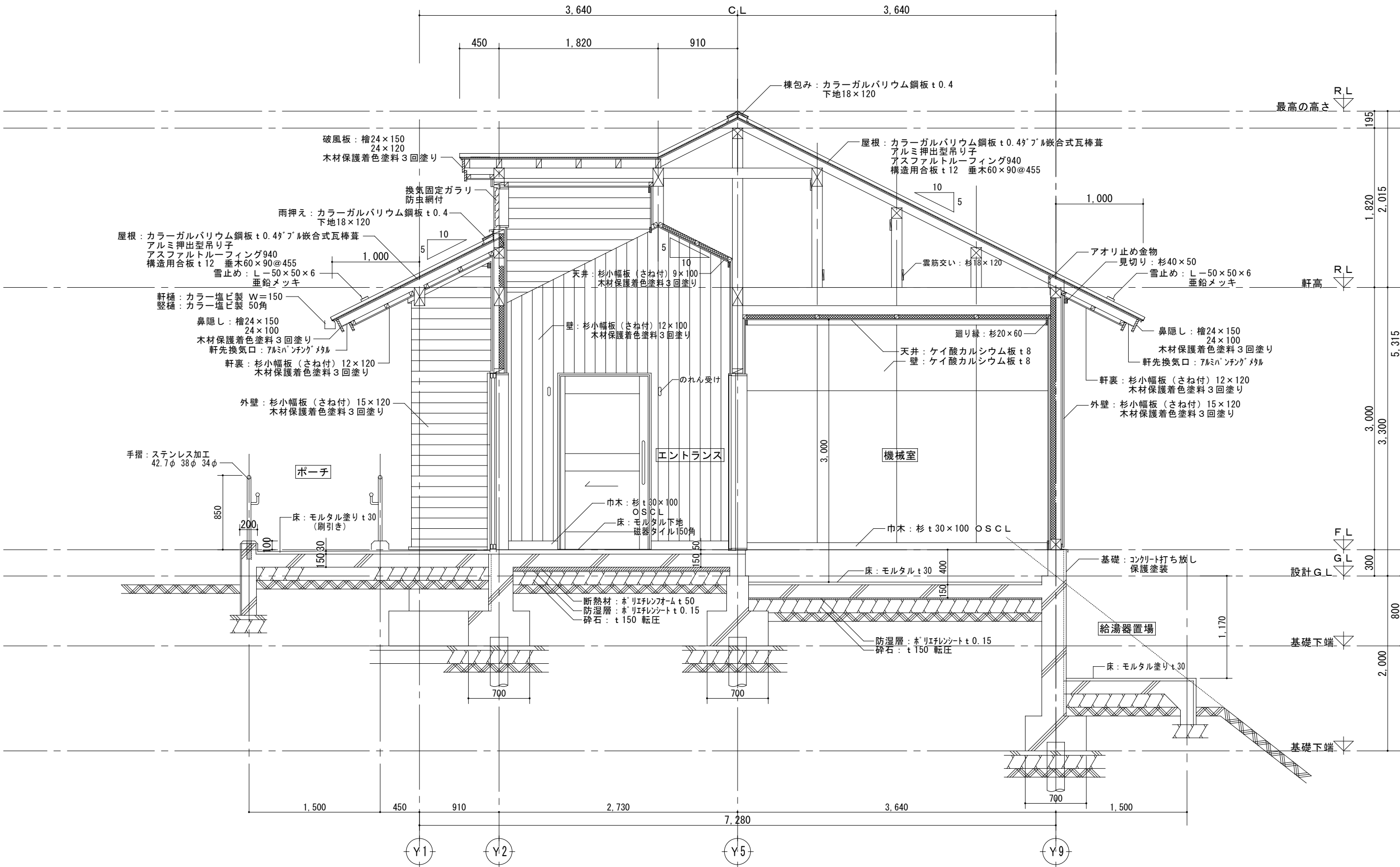


	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤 樹					図面名	屋根詳細図	縮尺	設計年月日	A-12	
										1/50	平成25年3月		



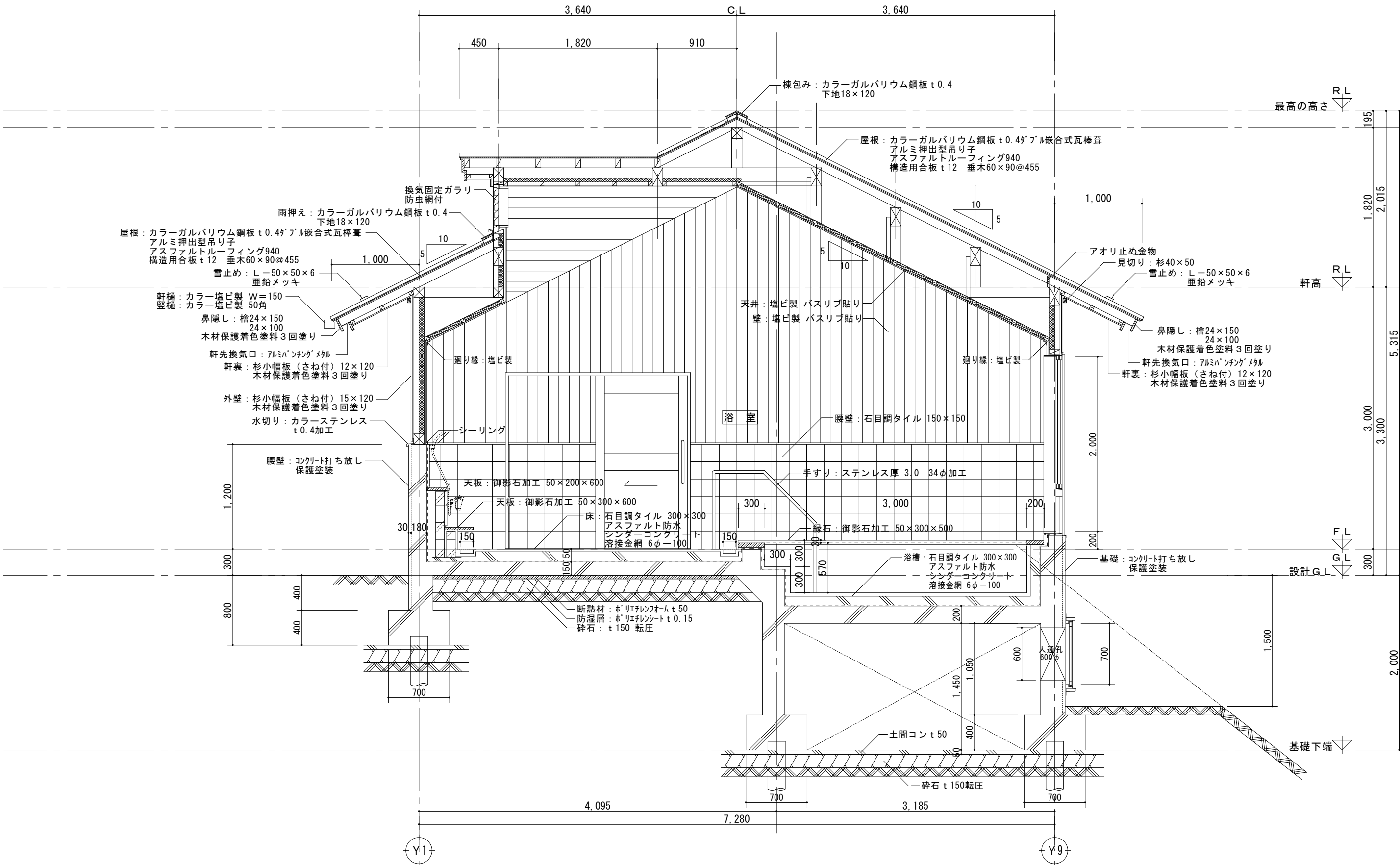
立面図 1 : 100

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	立面図	縮尺	設計年月日	A-13	
									1/100	平成25年3月		



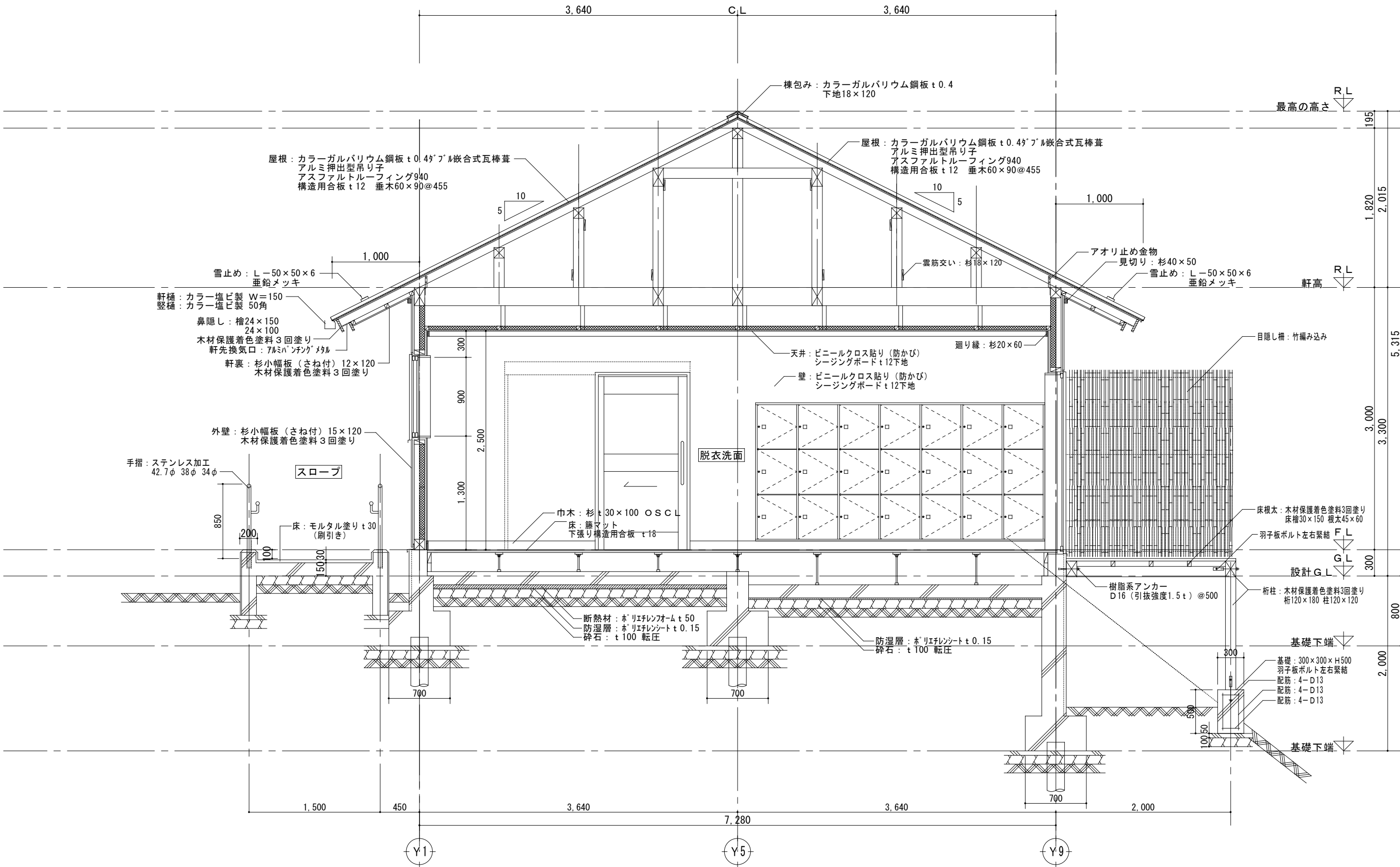
矩計図一 1 1 : 30

	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤 樹					図面名	矩計図一 1	縮尺	設計年月日	A-14	
										1/30	平成25年3月		



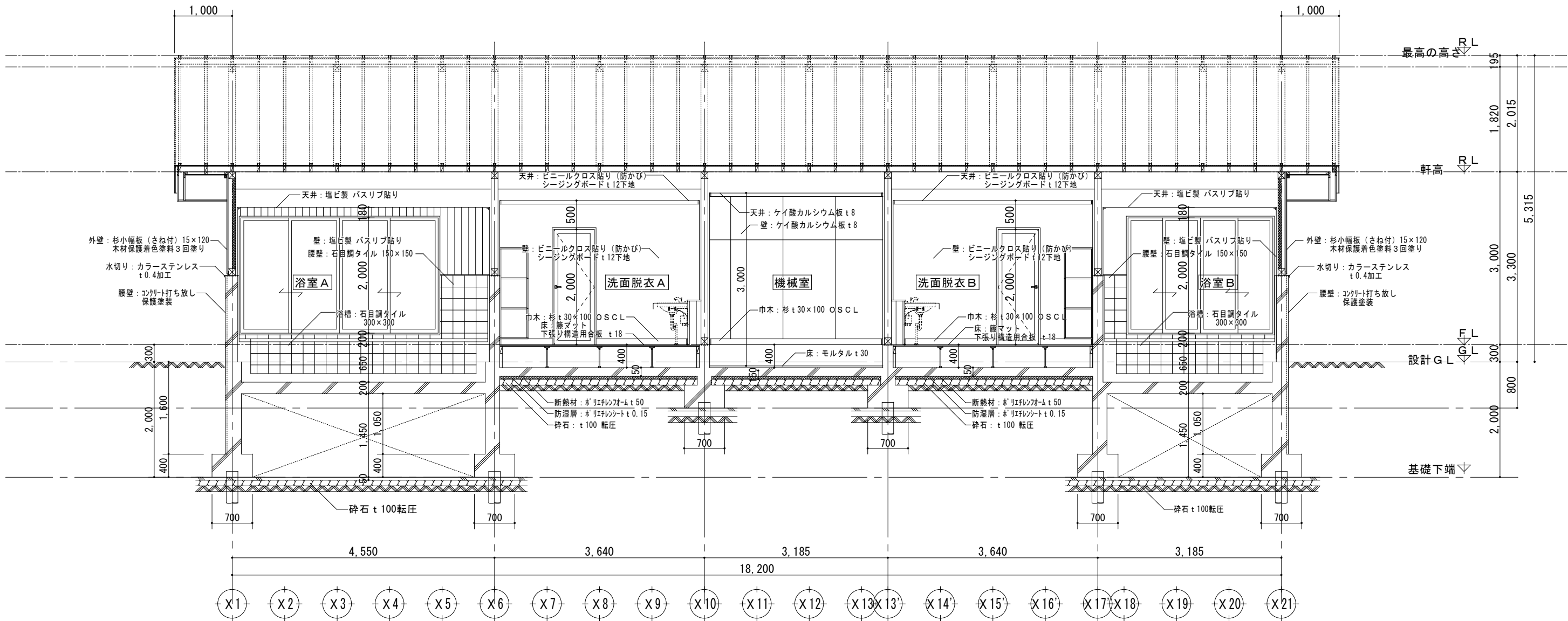
矩計図一 2 1 : 30

	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502号		熊谷 藤 樹					図面名	矩計図一 2	縮尺	設計年月日	
										1/30	平成25年3月	



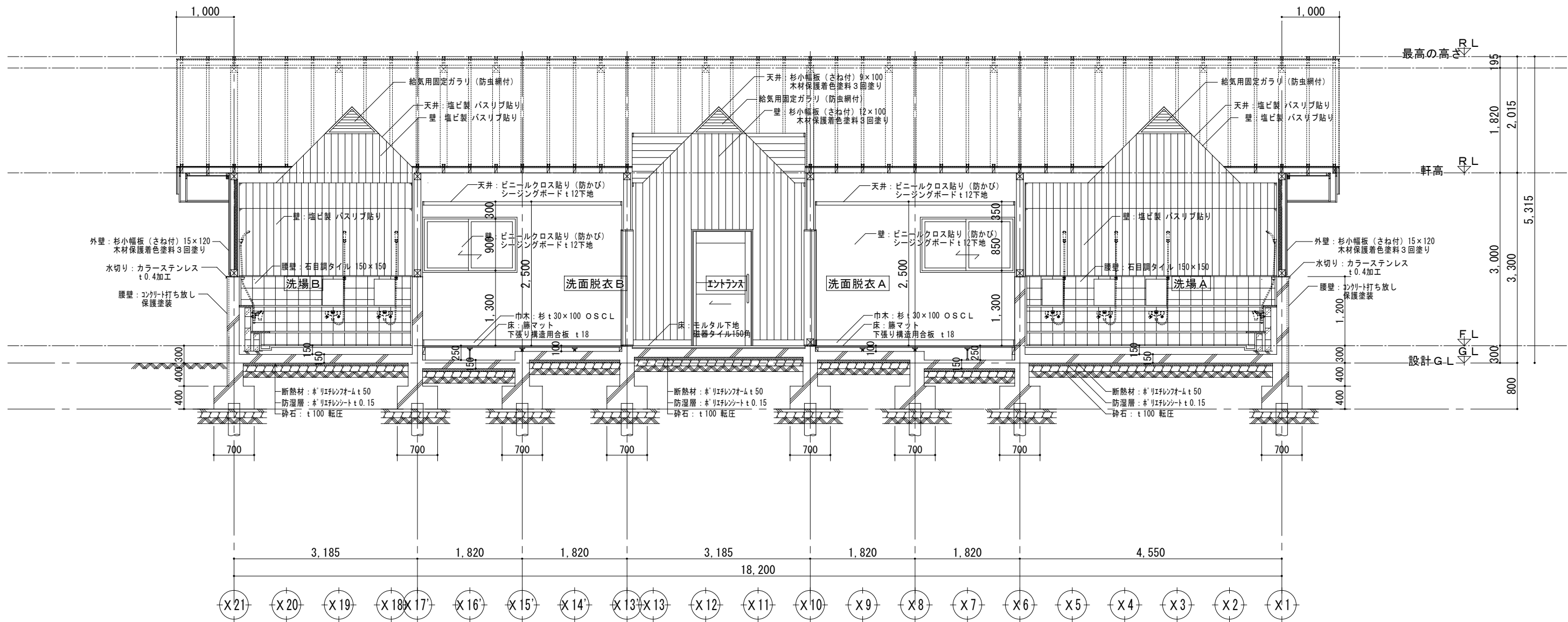
矩計図ー3 1 : 30

	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502号		熊谷 藤 樹					図面名	矩計図ー3	縮尺	設計年月日	
										1/30	平成25年3月	



矩計図-4 1:50

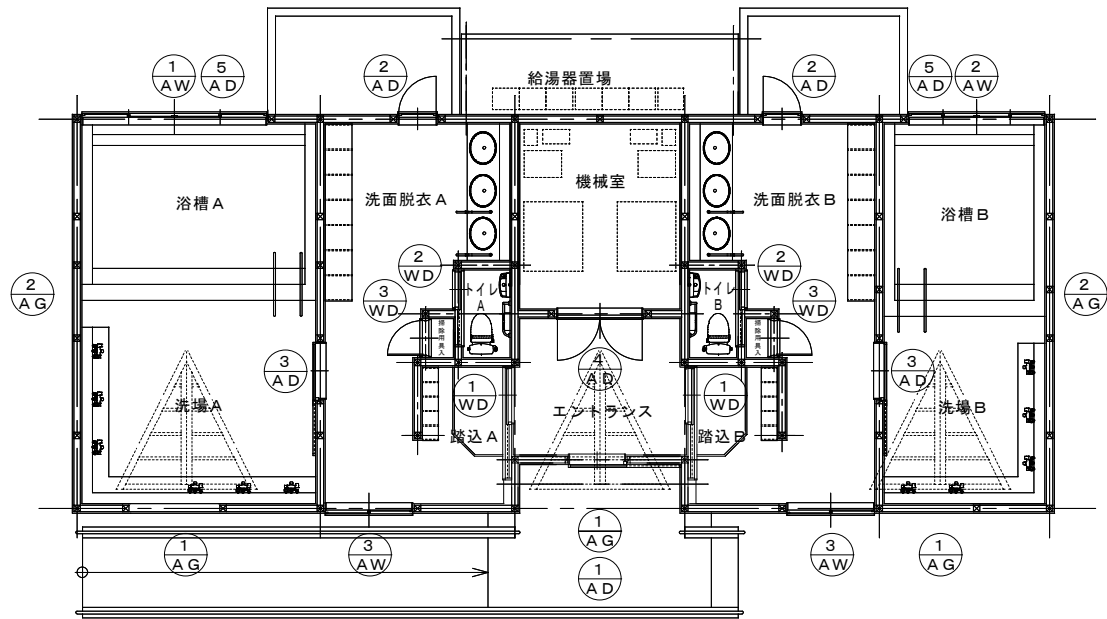
	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502号		熊谷 藤 樹					図面名	矩計図-4	縮尺	設計年月日	
										1/50	平成25年3月	



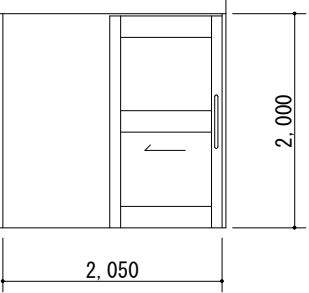
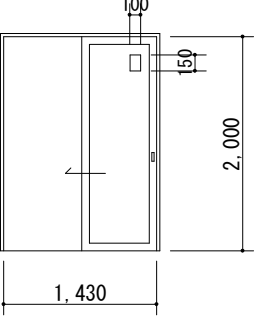
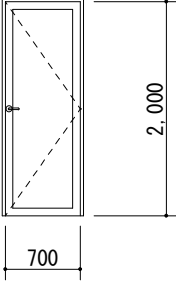
矩計図ー5 1 : 50

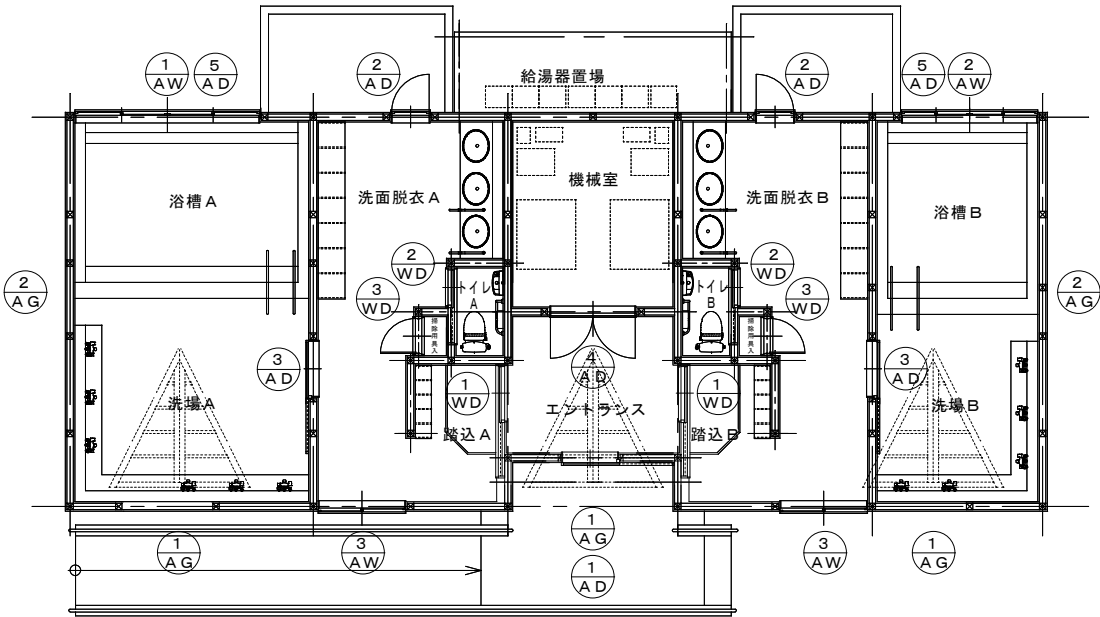
	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤樹					図面名	矩計図ー5	縮尺	設計年月日	
										1/50	平成25年3月	

記号・数量	<div><div>1</div><div>A D</div></div>	1	<div><div>2</div><div>A D</div></div>	2	<div><div>3</div><div>A D</div></div>	2	<div><div>4</div><div>A D</div></div>	1	<div><div>5</div><div>A D</div></div>	2	<div><div>1</div><div>A D</div></div>	
名 称	引き違い玄関ドア		片開きドア		片引きハンガードア		アルミ製両開きドア		アルミ製片開きドア			
取 付 場 所	エントランス		洗面脱衣 A、B		浴室 A、B		機械室		配管ビット人通孔			
形 状												
硝子・見込	透明強化ガラス厚 6	1 0 0	透明強化ガラス厚 6	7 0	透明強化ガラス厚 6	7 0	アルミパネル電解着色（カラー）	7 0	アルミパネル電解着色（カラー）	7 0		
材料・塗装	アルミ電解着色（カラー）		アルミ電解着色（カラー）		アルミ電解着色（カラー）		アルミ電解着色（カラー）		アルミ電解着色（カラー）			
附属金物等	本締り錠、引き手、敷居ステンレス製 3方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式		レバーハンドル面付錠、ドアクローザー 3方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式		棒状引き手、自動閉鎖装置 3方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式		レバーハンドル、本締り錠 3方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式		レバーハンドル、本締り錠 附属金物一式			
備 考	開口部有効900以上とする											
記号・数量	<div><div>1</div><div>A W</div></div>	1	<div><div>2</div><div>A W</div></div>	1	<div><div>3</div><div>A W</div></div>	2	<div><div>1</div><div>A G</div></div>		<div><div>1</div><div>A G</div></div>	3	<div><div>2</div><div>A G</div></div>	2
名 称	アルミ製引き違い戸+ F I X		アルミ製引き違い戸+ F I X		アルミ製引き違い戸				アルミ製固定ガラリ		アルミ製固定ガラリ	
取 付 場 所	浴室 A		浴室 B		洗面脱衣 A、B				妻側外壁		屋根吹抜け部	
形 状												
硝子・見込	透明強化ガラス厚 6	7 0	透明強化ガラス厚 6	7 0	型板強化ガラス厚 4	7 0			アルミ電解着色（カラー）	7 0	アルミ電解着色（カラー）	7 0
材料・塗装	アルミ電解着色（カラー）		アルミ電解着色（カラー）		アルミ電解着色（カラー）				アルミ電解着色（カラー）		アルミ電解着色（カラー）	
附属金物等	引き手、クレセント、網戸 4方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式		引き手、クレセント、網戸 4方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式		引き手、クレセント、網戸 4方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式				防虫網付 4方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式		防虫網付 3方額縁アルミ電解着色（カラー）、附属金物一式	
備 考												

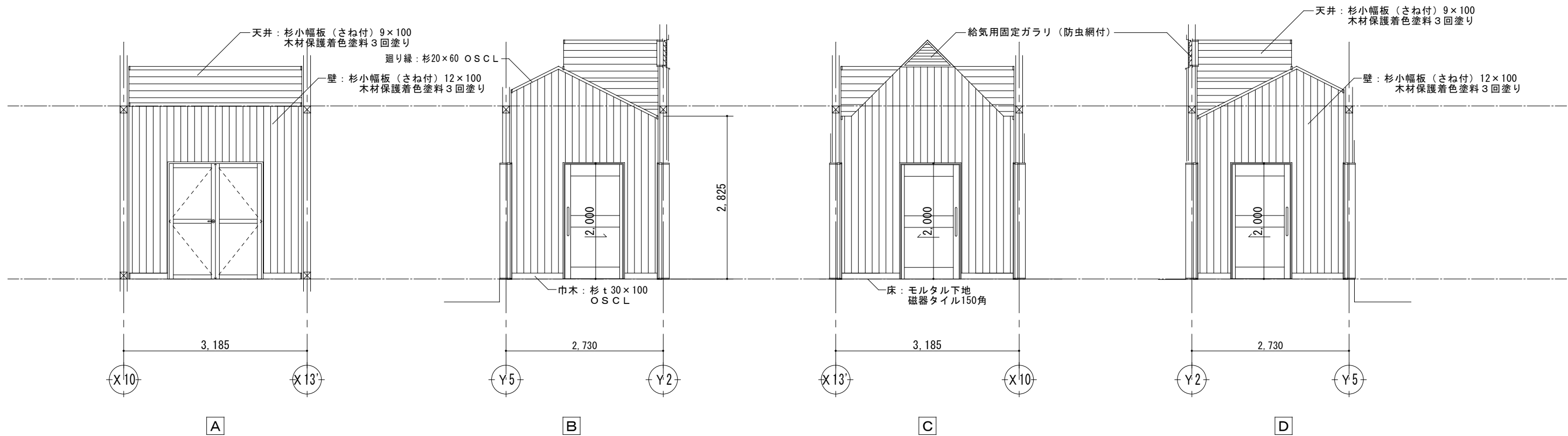


	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	建具表－1	縮尺	設計年月日	A－19
									1/50 1/100	平成25年3月	

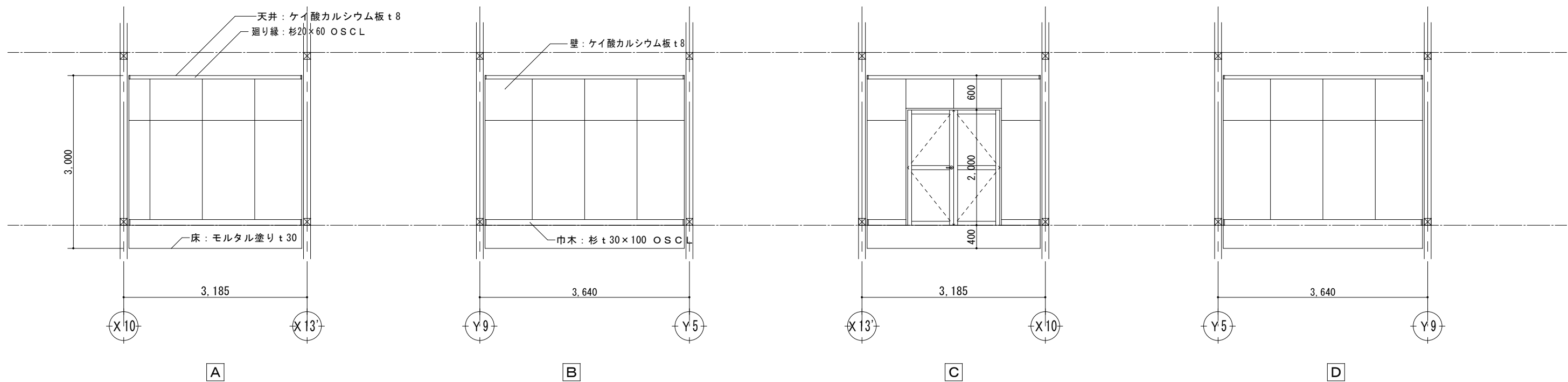
記号・数量	<div><div>1</div><div>WD</div></div>	2	<div><div>2</div><div>WD</div></div>		<div><div>3</div><div>WD</div></div>	2	<div><div>⊖</div></div>		<div><div>⊖</div></div>		<div><div>⊖</div></div>	
名 称	片引きハンガードア		片引きドア		片開きドア							
取 付 場 所	洗面脱衣 A、B		トイレ A、B		掃除用具入 A、B							
形 状												
硝子・見込	木パネル（杉）OSCL	3 5	木パネル（杉）OSCL 型板ガラス 4	3 5	木パネル（杉）OSCL	3 5						
材料・塗装	檜 OSCL		檜 OSCL		檜 OSCL							
附属金物等	棒状引き手、自動閉鎖装置、敷居ステンレス製 3方枠（120）額縁 OSCL、附属金物一式		引き手、表示錠（外部解錠付） 3方枠（120）額縁 OSCL、附属金物一式		レバーハンドル面付錠、丁番3枚吊り 3方枠（120）額縁 OSCL、附属金物一式							
備 考												
記号・数量	<div><div>⊖</div></div>		<div><div>⊖</div></div>		<div><div>⊖</div></div>		<div><div>⊖</div></div>		<div><div>⊖</div></div>		<div><div>⊖</div></div>	
名 称												
取 付 場 所												
形 状												
硝子・見込												
材料・塗装												
附属金物等												
備 考												



	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	建具表ー2	縮尺	設計年月日	Aー20
									1/50 1/100	平成25年3月	

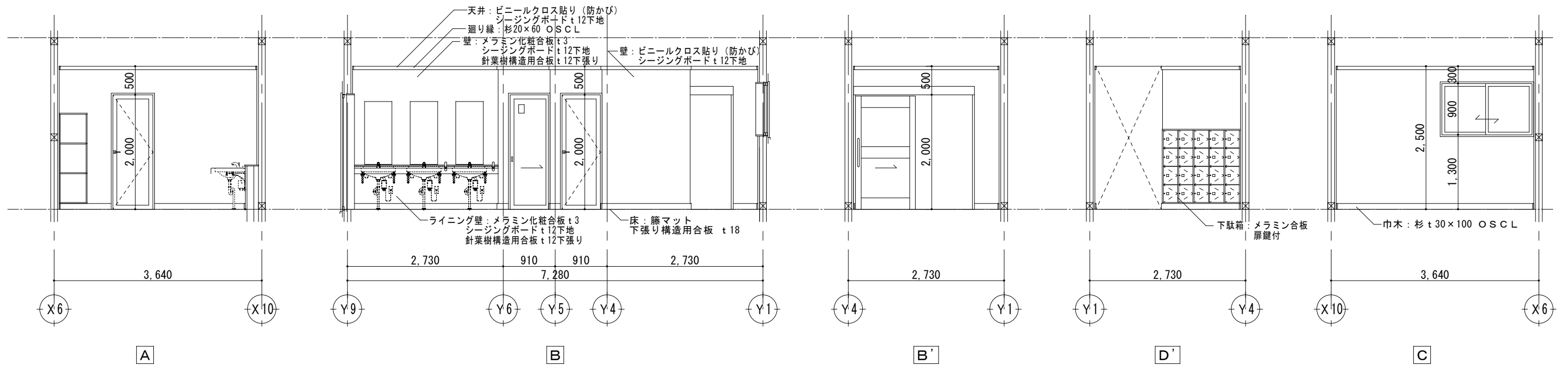


エントランス 展開図

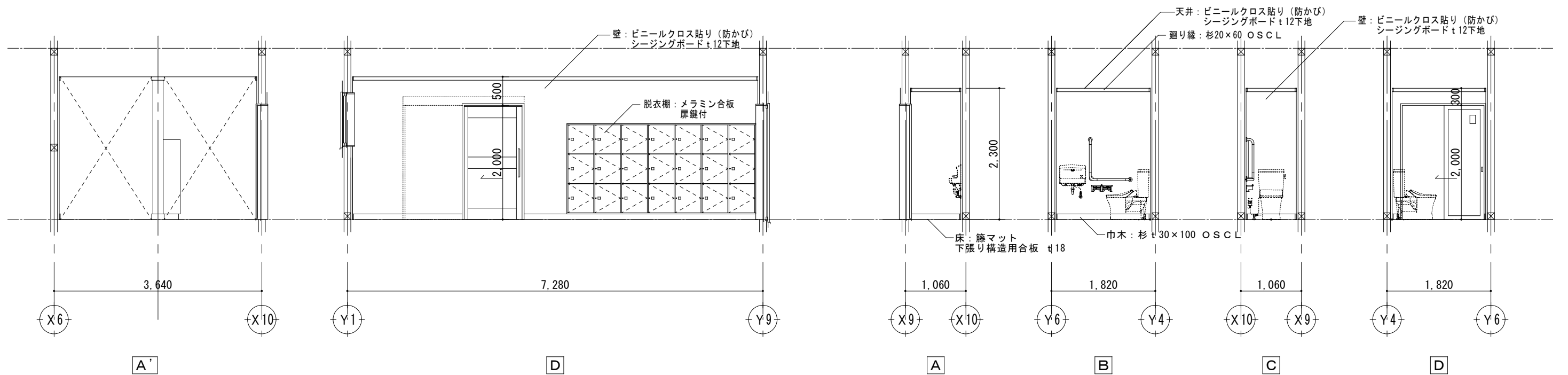


機械室 展開図

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	展開図ー1	縮尺	設計年月日	Aー21
									1/50	平成25年3月	



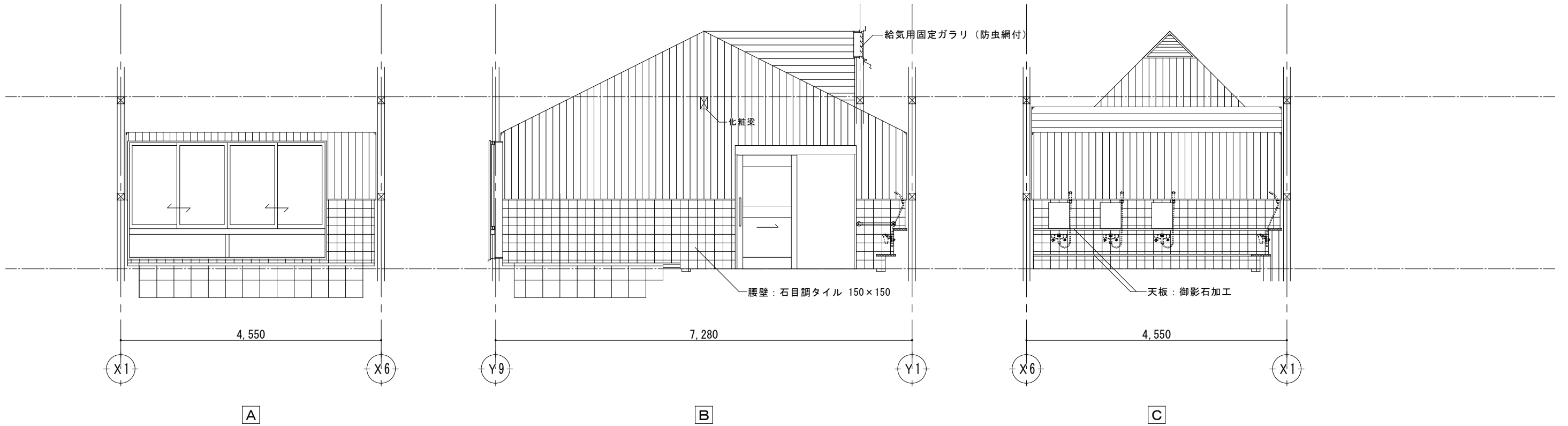
洗面脱衣A 展開図



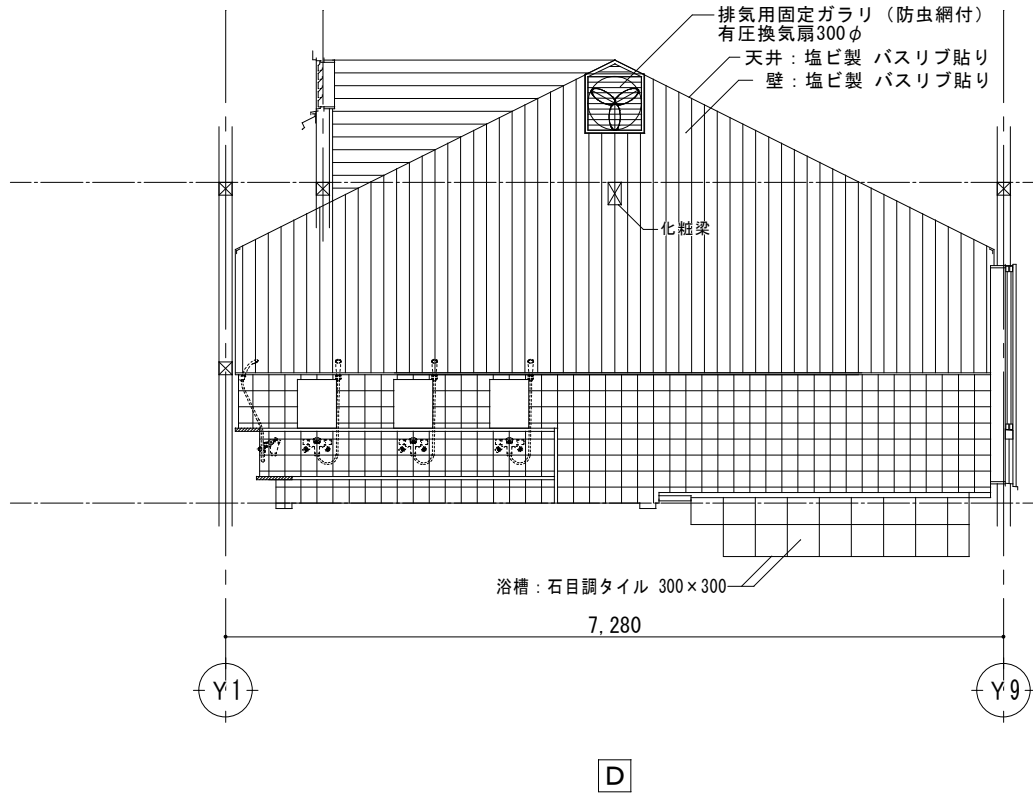
洗面脱衣A 展開図

トイレA 展開図

	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤 樹					図面名	展開図ー2	縮尺	設計年月日	Aー22
										1/50	平成25年3月	

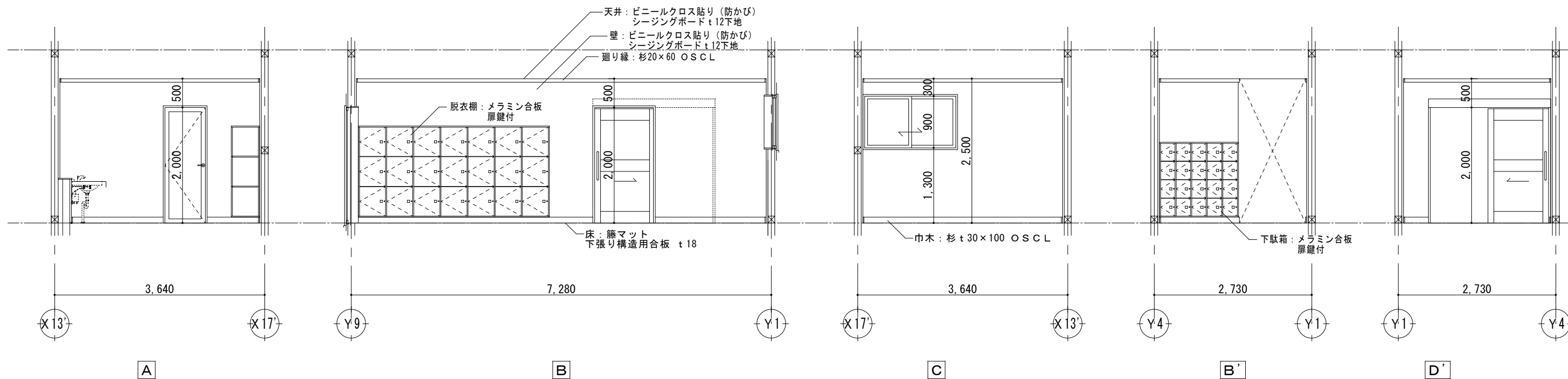


浴室 A 展開図

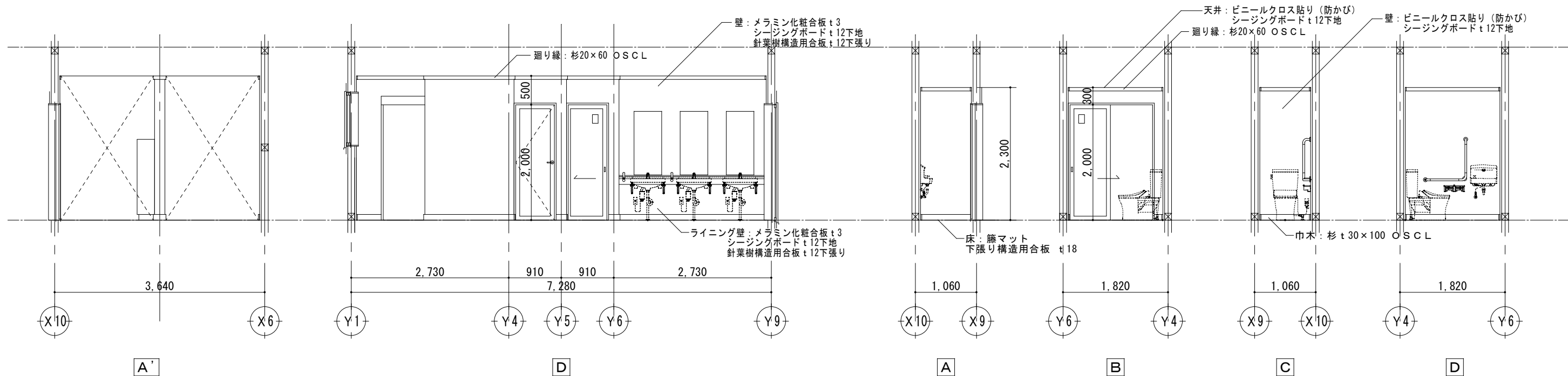


浴室 A 展開図

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
								展開図-3	縮尺	設計年月日	
									1/50	平成25年3月	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名				A-23



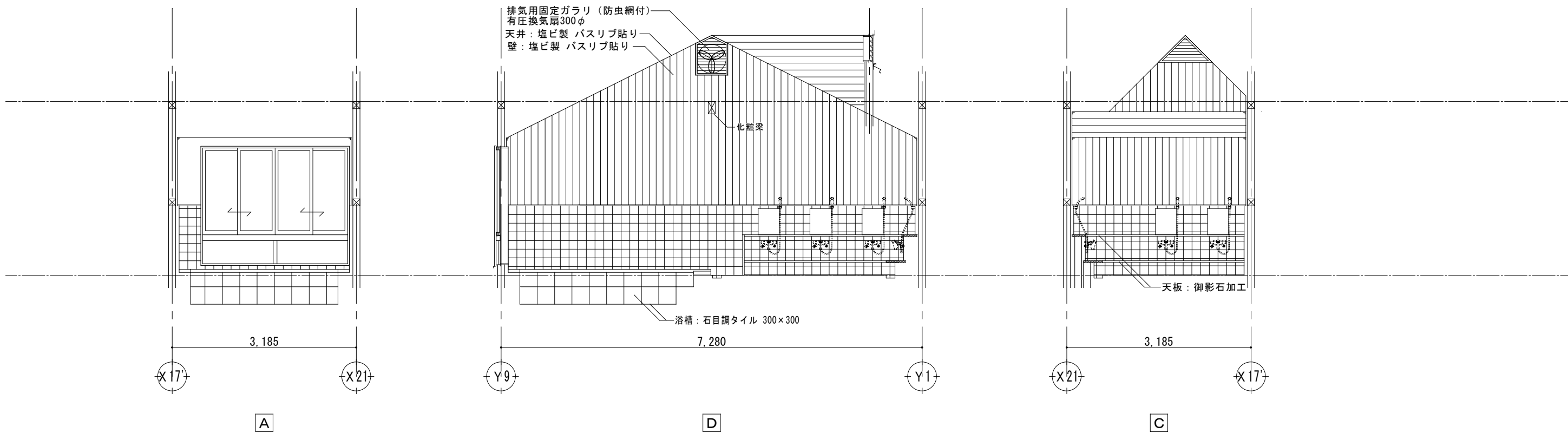
洗面脱衣B 展開図



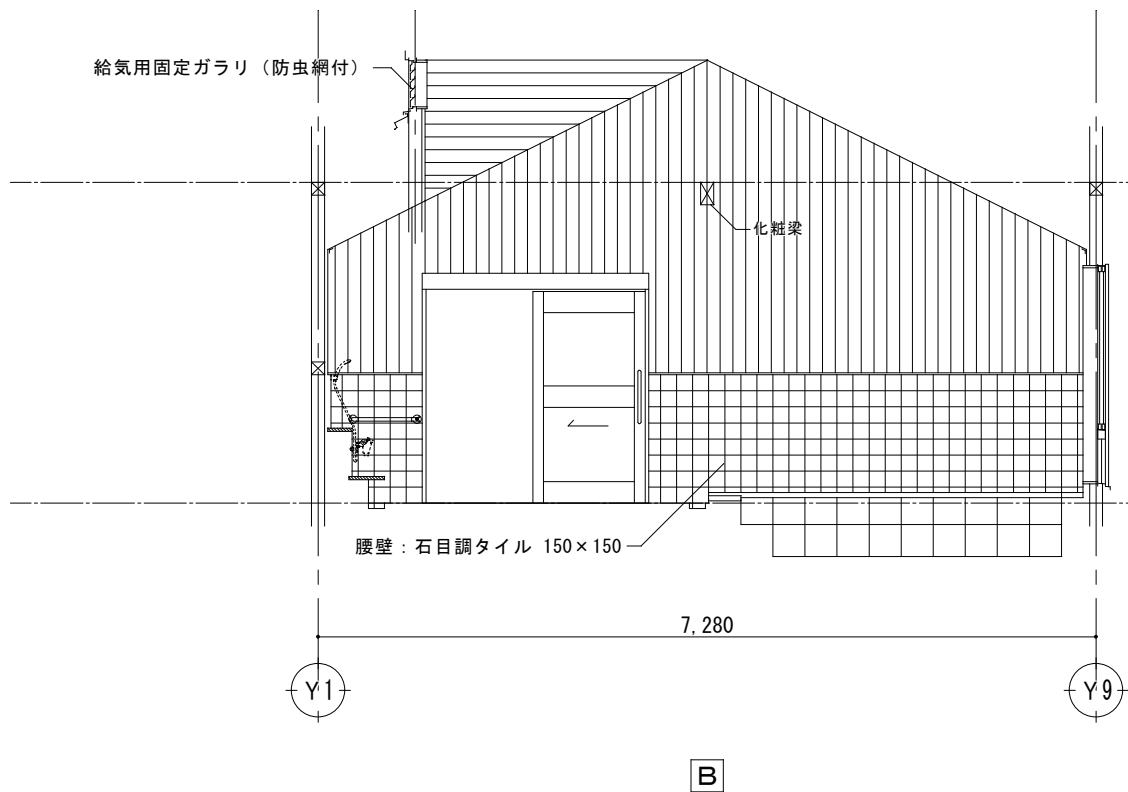
洗面脱衣B 展開図

トイレB 展開図

	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	展開図-4	縮尺	設計年月日	A-24
									1/50	平成25年3月	



浴室B 展開図

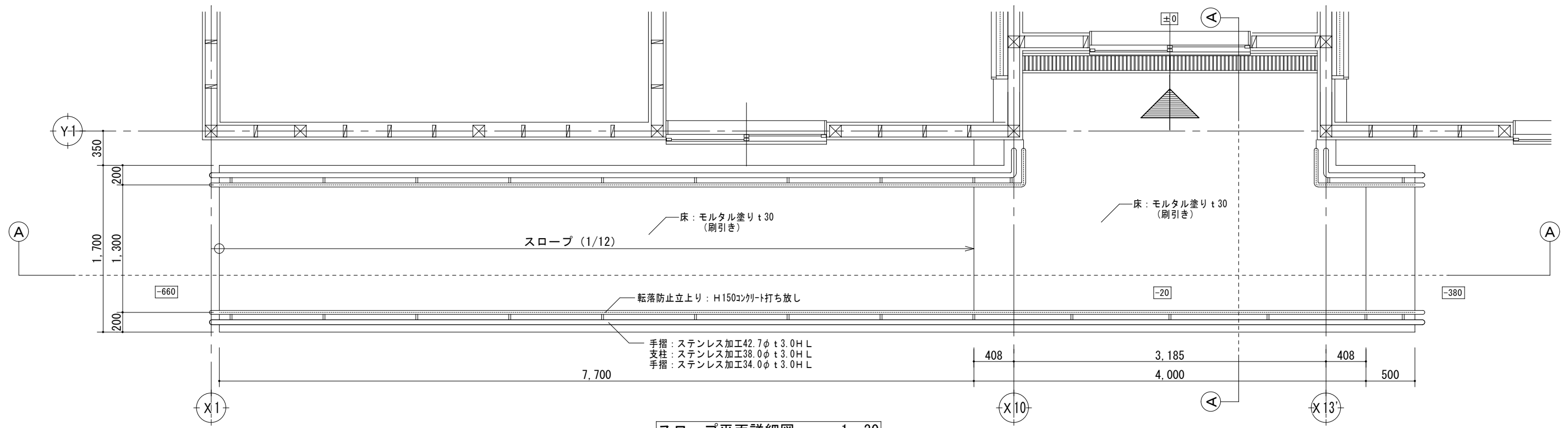


浴室B 展開図

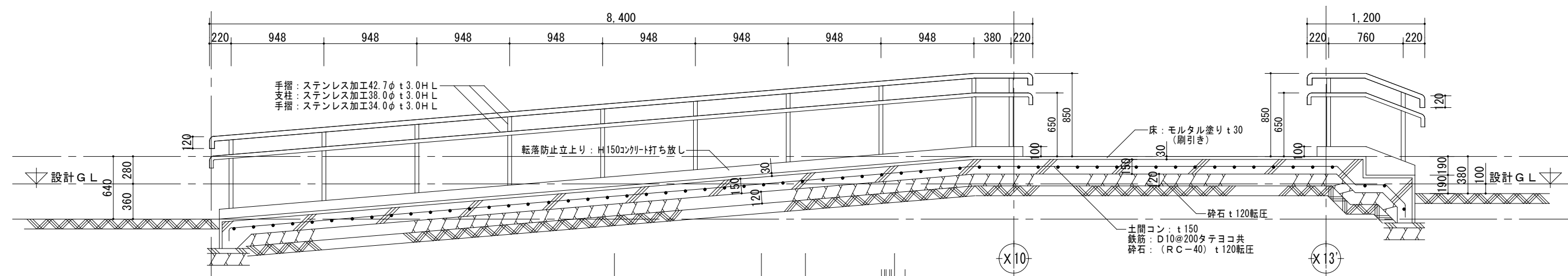
	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
								展開図-5	縮尺	設計年月日	
									1/50	平成25年3月	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名				A-25



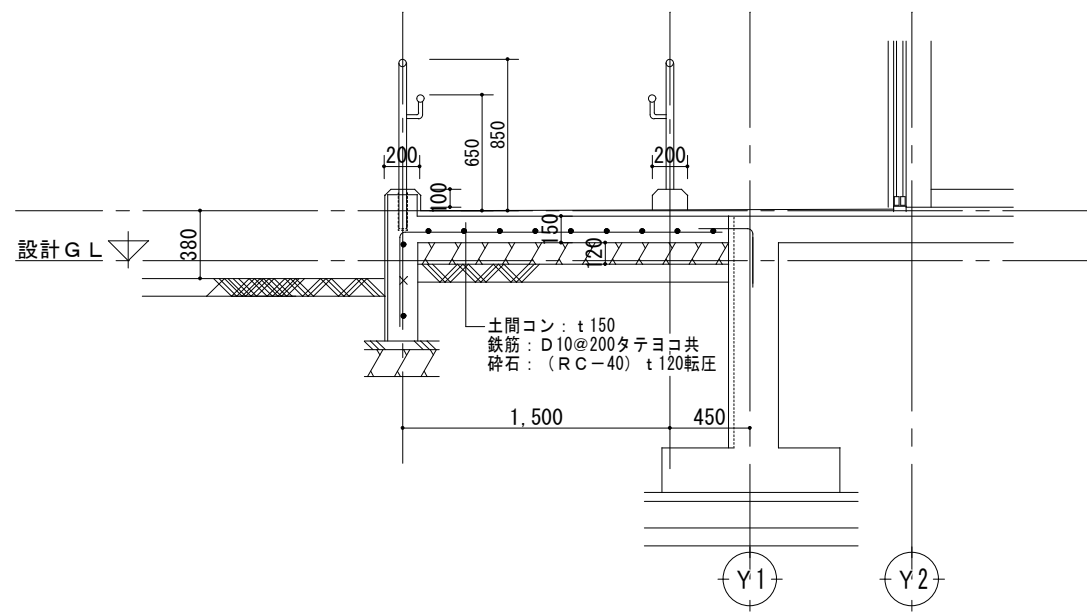
	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	天井伏図	縮尺 1/50	設計年月日 平成25年3月	A-26



スロープ平面詳細図 1 : 30

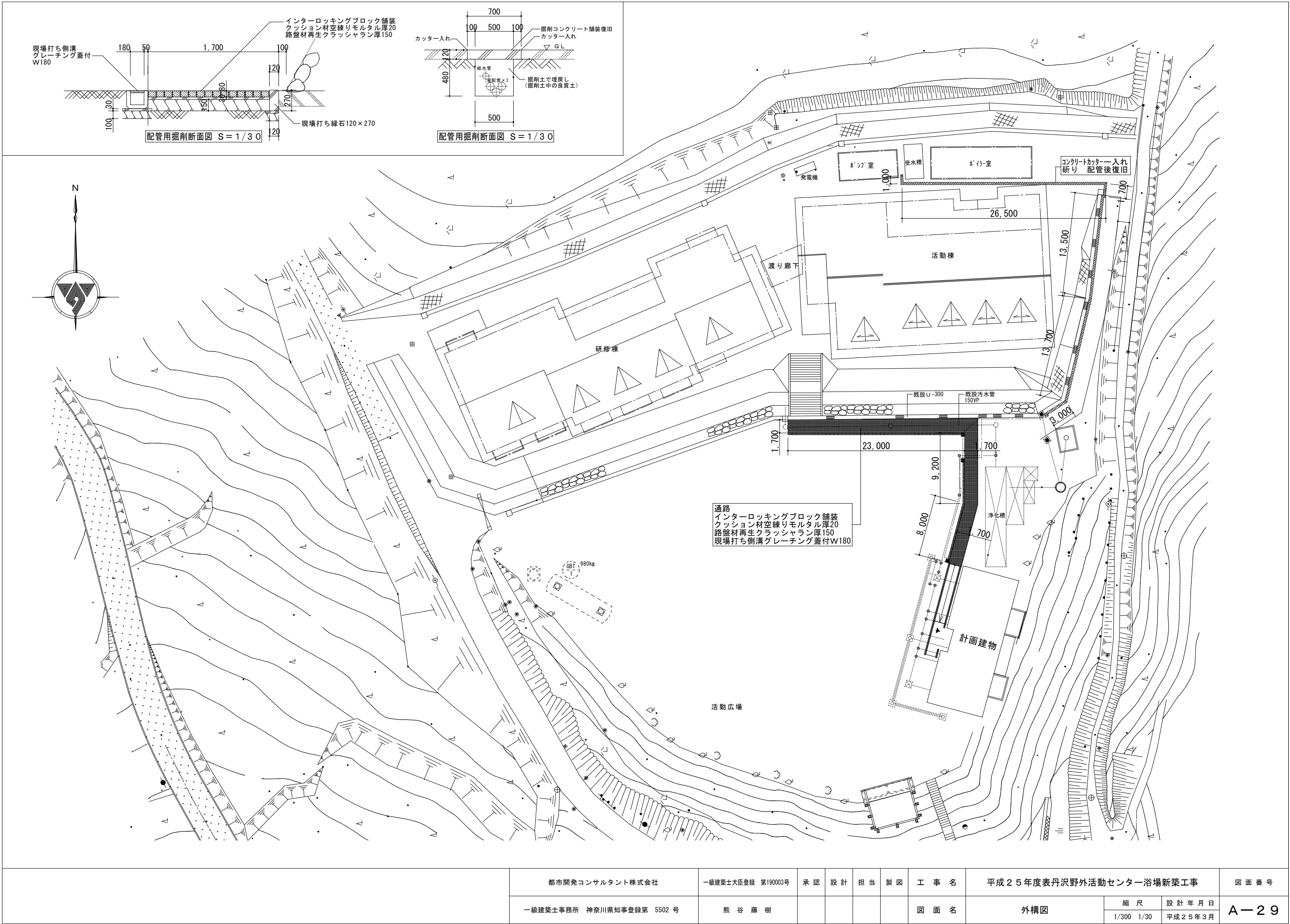


A-A断面図 1 : 30



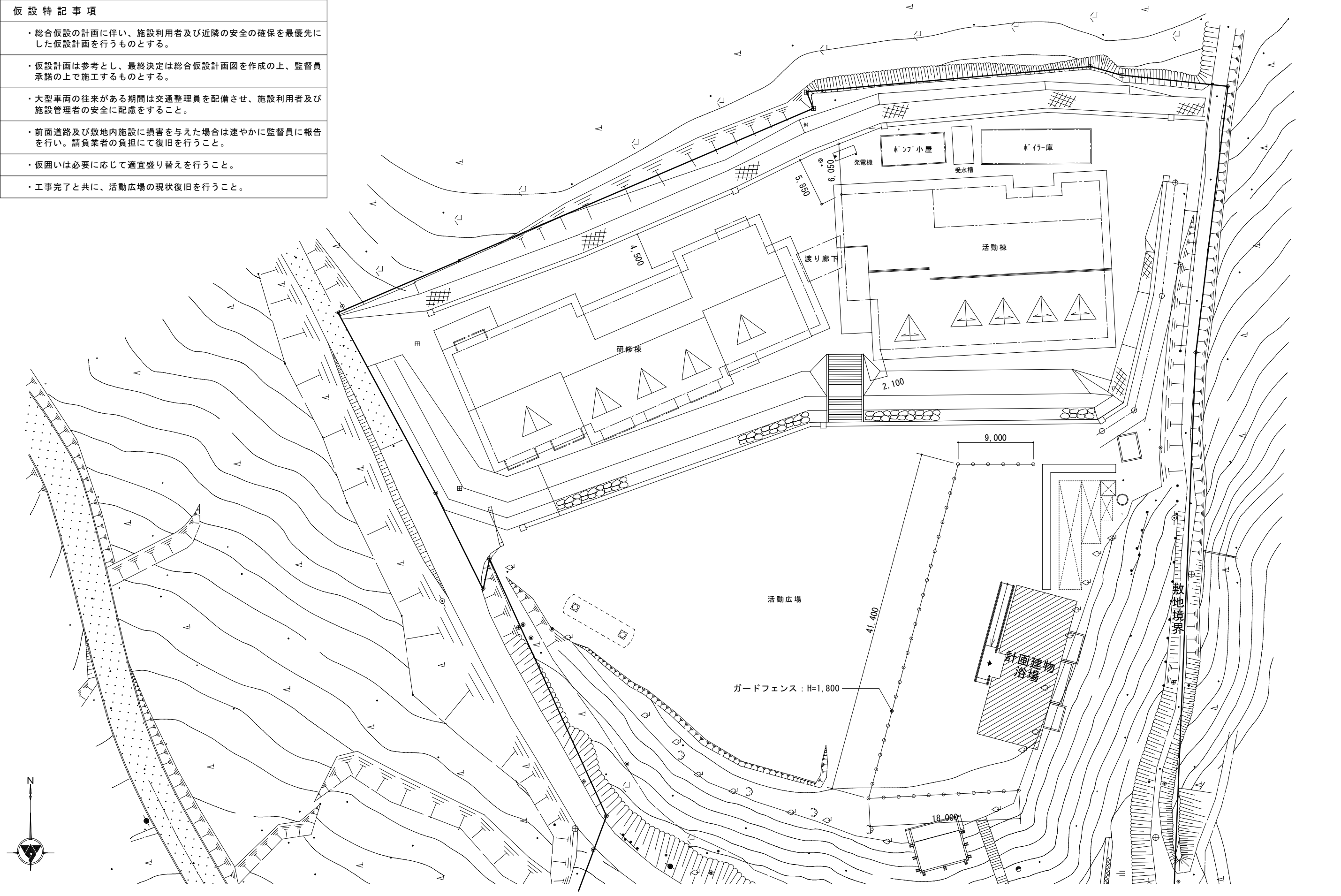
B-B断面図 1 : 30

	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号	
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502号		熊谷 藤 樹					図面名	スロープ詳細図	縮尺	設計年月日	A-27	
										1/30	平成25年3月		



	都市開発コンサルタント株式会社		一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号		熊谷 藤 樹					図面名	外構図	縮尺	設計年月日	
										1/300 1/30	平成25年3月	

仮 設 特 記 事 項
・ 総合仮設の計画に伴い、施設利用者及び近隣の安全の確保を最優先にした仮設計画を行うものとする。
・ 仮設計画は参考とし、最終決定は総合仮設計画図を作成の上、監督員承諾の上で施工するものとする。
・ 大型車両の往来がある期間は交通整理員を配備させ、施設利用者及び施設管理者の安全に配慮をすること。
・ 前面道路及び敷地内施設に損害を与えた場合は速やかに監督員に報告を行い。請負業者の負担にて復旧を行うこと。
・ 仮囲いは必要に応じて適宜盛り替えを行うこと。
・ 工事完了と共に、活動広場の現状復旧を行うこと。



	都市開発コンサルタント株式会社	一級建築士大臣登録 第190003号	承認	設計	担当	製図	工事名	平成25年度表丹沢野外活動センター浴場新築工事			図面番号 A-30
	一級建築士事務所 神奈川県知事登録第 5502 号	熊谷 藤 樹					図面名	仮設計画図（参考図）	縮尺	設計年月日	
									1/300	平成25年3月	